

平成30年10月

亀岡市議会中学生議会会議録

亀岡市議会中学生議会会議録目次

会期 1日間（平成30年10月27日）

○第 1 号（10月27日）	1
1. 議事日程	
開会あいさつ（議長）	
市民憲章の唱和	
あいさつ（市長）	
第 1 議席の指定	
第 2 会議録署名議員指名	
第 3 会期決定	
第 4 質問、自由討議	
○赤坂芽衣議員、川勝あぐり議員、出村拓也議員の質問（亀岡中学校）	8
1 亀岡市への定住者を増やすためには	
2 災害に強い安心して暮らせる亀岡市に	
○稲原由里秋議員、糸井万琴議員、磯部紗希議員の質問（別院中学校）	12
1 別院地域について	
2 別院中学校について	
○権安日向議員、谷本美咲議員、宗川さくら議員の質問（南桑中学校）	16
1 子育て支援について	
2 環境保護と防災について	
○久保優也議員、野口千皓議員、水野友瑛の質問（育親中学校）	20
1 教育の平等性について	
2 安全なまちづくりについて	
3 公園の重要性について	
○柴山幸議員、小林希颯議員、園山来海議員の質問（東輝中学校）	26
1 亀岡市の交通網の整備等について	
2 亀岡市の将来像について	
3 学校等の公共施設の整備について	

○吉田瑞穂議員、松田燎議員、馬淵琳平議員の質問（大成中学校）……………	35
1 亀岡市の公共施設の整備について	
2 学校の教育環境の整備について	
○志賀大和議員、山田麻裕議員の質問（詳徳中学校）……………	40
1 観光客がより快適に利用できる駅とは	
2 国際人を育成するために	
○中澤大河議員、田中未維奈議員、安藤満美議員の質問（亀岡川東学園）……………	43
1 「かめおかフォトグランプリ（仮）」の提案について	
2 子育てしやすいまちづくり、移住の促進	
第 5 決議（案）について（決議表明、表決）	
講評（教育長）	
閉会あいさつ（副議長）	

会 議 に 付 し た 事 件

議案番号	件 名	議決年月日	議決結果
決 議	ふるさとのまちや学校をよりよくするために主体的に 考え行動する決議（案）	30.10.27	可 決

亀岡市議会中学生議会会議録

平成30年10月27日（土曜日）午後0時30分開会

○出席中学生議員（23名）

赤	坂	芽	衣	（亀岡中学校）
川	勝	あ	ぐり	（亀岡中学校）
出	村	拓	也	（亀岡中学校）
稲	原	由	里秋	（別院中学校）
糸	井	万	琴	（別院中学校）
磯	部	紗	希	（別院中学校）
権	安	日	向	（南桑中学校）
谷	本	美	咲	（南桑中学校）
宗	川	さ	くら	（南桑中学校）
久	保	優	也	（育親中学校）
柴	山		幸	（東輝中学校）
小	林	希	颯	（東輝中学校）
園	山	来	海	（東輝中学校）
吉	田	瑞	穂	（大成中学校）
松	田		療	（大成中学校）
馬	渕	琳	平	（大成中学校）
野	口	千	皓	（育親中学校）
水	野	友	瑛	（育親中学校）
志	賀	大	和	（詳徳中学校）
山	田	麻	裕	（詳徳中学校）
中	澤	大	河	（亀岡川東学園）
田	中	未	維奈	（亀岡川東学園）
安	藤	満	美	（亀岡川東学園）

○出席議員（2名）

小	松	康	之
湊		泰	孝

○出席理事者（20名）

市	長	桂	川	孝	裕
---	---	---	---	---	---

副市長	石野茂
教育長	田中太郎
市長公室長	藤村かをる
企画管理部長	内田尚
企画管理部地方創生担当部長	仲山德音
生涯学習部長	田中秀門
総務部長	河原正浩
環境市民部長	塩尻知己
健康福祉部長	栗林三善
健康福祉部子育て支援担当部長	吉田恵
産業観光部長	柏尾寿和
まちづくり推進部長	竹村功
まちづくり推進部事業担当部長	並河悦郎
会計管理室長	田中美良
上下水道部長	阿久根和也
病院管理部長	佐々木健
教育部長	山本善也
財政課長	浦邦彰
総務課長	石田尚

○議会事務局（5名）

事務局長	片岡清志
次長	山内偉正
議事調査係長	鈴木智
主任	池永菜穂子
主事	山末達也

亀岡市議会中学生議会議事日程

平成30年10月27日（土曜日）

開議 午後0時30分

開会あいさつ（議長）

市民憲章の唱和

あいさつ（市長）

第1 議席の指定

- 第 2 会議録署名議員指名
第 3 会期決定
第 4 質問、自由討議（前半）
（休憩）
質問、自由討議（後半）
第 5 決議（案）について（決議表明、表決）
講評（教育長）
閉会あいさつ（副議長）

上記のとおり

議 長

午後0時30分開会

○議長（湊 泰孝） 中学生議員の皆さん、こんにちは。

議長の湊泰孝でございます。どうぞよろしく願いいたします。

亀岡市内の中学校及び義務教育学校から選ばれました皆さんには、日々の勉強やクラブ活動のさなか、御準備をいただき、亀岡市議会中学生議会に御参加いただきましたことに、心から感謝を申し上げますとともに、その御努力に敬意を表したいと思えます。

私たち亀岡市議会も、若い皆さんのまちづくりに対する思いが聞けることを大変楽しみにして、準備してまいりました。次の世代を担う皆さん方の声を、私たちはしっかりと受けとめ、よりよいまちづくりにつなげていきたいと考えております。

御存じいただいているとは思いますが、一昨年には、選挙権年齢が引き下げられ、18歳以上になれば、高校在学中にも投票できることとなりました。これは、中学生の皆さんにとっては、もうすぐ目の前のこととなります。

皆さんは、今後、少子高齢化がさらに進む日本に生き、その中心となり、社会を担っていただく世代でございます。皆さん自身がよく考え、自分が暮らしている地域を含め、日本の現在、未来のあり方を決める政治に積極的にかかわり、誰もが住みやすい社会、そして何よりも平和な社会をみずからの手で実現していただきたい、そのように願っているところであります。

きょうは、中学生議会の開催に当たり、桂川市長を初め執行部の皆さんに御参加をお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。皆さんからの質問に十分に答えていただけると、期待しているところでございます。

そして、市議会としましては、若く柔軟な考えを持つ皆さん方と一緒に、亀岡のまちづくりを考える場とするとともに、皆さんにはこの議場で、議会の雰囲気をも十分に体感していただき、地方自治への関心を高めてもらう機会としていただきたいと思います。

そのため、本日の進行については、市議会本会議の議事進行さながらに進めていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

また、傍聴席の皆様、本日はようこそ亀岡市議会議場に足を運んでいただきました。心から御礼を申し上げたいと存じます。中学生議会の開催に御協力、御理解をいただきましたことに、厚くお礼を申し上げるところでございます。

亀岡市議会では、これまで小学生を対象とした子ども議会や、高校生議会に続き、次代を担う若者たちの可能性について、支援していきたいという強い思いを持って、ことしは中学生議会を開催させていただきました。亀岡市議会といたしましても、今後ともより一層開かれた議会を目指し、活動していく所存でございます。

今後とも、皆様方の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げまして、簡単ではございますけれども、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

本日一日、どうぞよろしく願いいたします。

○議長（湊 泰孝） それでは、ただいまから、亀岡市議会中学生議会を開会いたします。

最初に、市民憲章の唱和を行います。

代表議員の別院中学校、糸井万琴議員、御登壇の上、よろしく願いいたします。

[糸井万琴議員 登壇] (拍手)

○議長（湊 泰孝） 皆様、御起立ください。

[一同起立]

○糸井万琴議員（別院中学校） 皆さん、こんにちは。

代表議員の糸井万琴です。これより、市民憲章の唱和を行います。

まず私が前文を朗読し、「一つ」と言いますので、その後、皆さん、唱和をお願いいたします。

亀岡市民憲章。

京都から西へ、老ノ坂を越えれば朝霧の晴れ間に亀岡盆地が広がる。豊潤な水脈は、田園や里山に多彩な実りをもたらし、舟運を支えてきた保津川は、いまも溪流の舟下りで賑わっている。

古来、人びとは自然との調和やお互いの絆、家族のぬくもりを大切にしながら暮らしてきた。そこには石門心学が生まれ、円山応挙の芸術が育まれた。城下町のたたずまいを色濃くとどめ、華麗な山鉦が巡り、地域に根ざした芸能が息づいている。

そんな亀岡に生きるわたくしたち市民は、こうした平安の営みを未来につなぐことを願って、市民憲章を掲げます。

一つ、水と緑の恵みを大切に、豊かな環境を次代に引き継ぐまちをつくります。

一つ、いのちを尊重し、共に輝き、心の通いあう家族とまちをつくります。

一つ、健やかな心とからだを育て、安らぎのあるまちをつくります。
一つ、互いにまなび、高めた力を活かす生涯学習のまちをつくります。
一つ、歴史と伝統を生かし、先人の知恵が香る文化のまちをつくります。
一つ、世界にはばたく、豊かな感性と英知を育むまちをつくります。
一つ、一人ひとりが主役となって、共に生き、ともに支え、平和と人権の根づくまちをつくり
ます。

ありがとうございました。

○議長（湊 泰孝） ありがとうございました。

皆様、御着席ください。

[一同着席]

○議長（湊 泰孝） 次に、桂川市長より御挨拶をいただきます。

桂川市長。

[市長（桂川孝裕） 登壇]

○市長（桂川孝裕） 中学生議員の皆さん、こんにちは。

ようこそ、亀岡市議会にお越しいただきました。

皆さん方は、市内の8中学校を代表し、それぞれ議員として選ばれ、本日を迎えたわけであり
ます。

この議場で質問するに当たり、事前の準備、それぞれがいろいろ思案し、取り組んできてく
れたものというふうに思っています。質問をつくるということの難しさ、また、15分という限
られた時間の中で質疑を行う、そのテクニック、ぜひともきょう、皆さん方のこれまでの努力
の成果を見せていただきたいというふうに思っております。

特に今、亀岡市は人口減少、9万人の人口が減り、今、8万9,200名余りの人口になってきて
います。少子化、高齢化という社会の大きな問題もありますし、また地域においては、空き家
がふえたり、またことしの夏のような自然災害が多発する、そんな多くの課題があります。

議員は、それらの課題を、市民の皆さんが日ごろ感じている、直してほしいな、またこうし
てほしいなという思いをくみ取りながら、この議場で理事者に対して質問をいつもしていただ
いています。年4回、3月、6月、9月、12月と、年4回の議会で議員と理事者はともに切磋琢磨
しながら、亀岡市のよりよい方向に向けて議論しているところであります。そして、この議場
は、亀岡市の全ての予算、また条例、そのような亀岡市の行政の中心をなす施策がこの場で決
まっていくという場所でもあります。それだけ、神聖で大変重要な場所だというふうに認識して
います。そのことを踏まえて、きょう、それぞれ質問をいただければありがたいというふう
に思っています。私たちも誠心誠意、皆さん方の質問に対し、答えるつもりでありますので、よ
ろしくお願ひしたいというふうに思います。

また、この中学生議会を開催するに当たり、各学校の先生方には御尽力をいただきましたこ

とに、改めて感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

また、この中学生議会は、亀岡市議会の議員提案により、ぜひとも中学生の皆さんに亀岡市政の一端を理解していただき、体験してほしい、そして、でき得れば、将来、皆さん方が議員となったり、市長となったり、また市役所の職員となり、この亀岡市の未来づくりに取り組んでほしいという、そんな視点が生まれれば、よりうれしい、そういう思いから発案されたものと伺っているところであります。

どうかきょうの体験を一つの契機に、また、まちというものがどのように動き、どのように変わっていくのか、まさにそこには、議員や市役所の職員や、多くの市民の思いが結集されて、まちがいろいろと動いていくということを、実感していただければありがたいというふうに思います。

保護者の皆さんには、きょう、議場にお越しいただきまして、まことにありがとうございます。亀岡市議会議場では、いつも切磋琢磨する中で、議員とのやりとりを行いながら、亀岡の未来に向けて、また、市民一人一人の思いを実現できるような取り組みにつなげていく活動を行っております。その一端を、本日は見させていただければありがたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。本日提案をいただきました質問に対し、大変申しわけなかったんですが、東輝中学校の質問を少し減らしていただきました。といたしますのも、与えられた時間の中で、与えられた質問をするというのも、これは一つのルールであります。亀岡市議会議場は、ルールに基づいて取り組んでいるということを確認いただきたいということをお願いさせていただいたことでございますので、どうぞ御理解いただきたいと思っております。

そしてきょう、準備いただいた質問、しっかり自分たちの思いを発表いただいて、我々もしっかり受けとめてまいりたいと思っておりますので、これからの貴重な時間、どうぞよろしくお願いしたいと思います。皆様方の健闘を祈ります。

以上、終わります。

○議長（湊 泰孝） 桂川市長、ありがとうございました。

ここで、傍聴にお越しいただいている皆さんにお知らせします。

本日は、この議場の傍聴席以外にも、1階ロビー、そして8階の全員協議会室でも、この模様をモニター放映しておりますので、満席の場合は、御利用いただければと存じます。

また、本日の中学生議会に関しましては、傍聴席から写真を撮影していただいても結構でございます。その際、会場の進行上の妨げにならないように、シャッター音等には御配慮いただきますようお願い申し上げます。

なお、玉井病院事業管理者につきましては、他の公務のため、本日の会議を欠席されております。

○議長（湊 泰孝） それでは、これより日程に入ります。

日程第1、議席の指定を行います。

議席は、亀岡市議会会議規則第4条第2項の規定を準用し、各議員の議席は、お手元配付の議員表のとおり、議長において指定します。

議 席 表

1番	赤	坂	芽	衣	(亀岡中学校)
2番	川	勝	あ	ぐ	り(亀岡中学校)
3番	出	村	拓	也	(亀岡中学校)
4番	稲	原	由	里	秋(別院中学校)
5番	糸	井	万	琴	(別院中学校)
6番	磯	部	紗	希	(別院中学校)
7番	権	安	日	向	(南桑中学校)
8番	谷	本	美	咲	(南桑中学校)
9番	宗	川	さ	く	ら(南桑中学校)
10番	久	保	優	也	(育親中学校)
11番	柴	山		幸	(東輝中学校)
12番	小	林	希	颯	(東輝中学校)
13番	園	山	来	海	(東輝中学校)
14番	吉	田	瑞	穂	(大成中学校)
15番	松	田		燎	(大成中学校)
16番	馬	淵	琳	平	(大成中学校)
17番	野	口	千	皓	(育親中学校)
18番	水	野	友	瑛	(育親中学校)
19番	志	賀	大	和	(詳徳中学校)
20番	山	田	麻	裕	(詳徳中学校)
21番	中	澤	大	河	(亀岡川東学園)
22番	田	中	未	維	奈(亀岡川東学園)
23番	安	藤	満	美	(亀岡川東学園)

○議長(湊 泰孝) 次に、日程第2、会議録署名議員指名を行います。

会議録署名議員は、亀岡市議会会議規則第88条の規定を準用し、亀岡中学校、赤坂芽衣議員、別院中学校、稲原由里秋議員を指名します。

○議長（湊 泰孝） 次に、日程第3、会期決定を議題とします。

お諮りします。

亀岡市議会中学生議会の会期は、本日1日にしたいと思いますが、御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（湊 泰孝） 御異議なしと認め、会期は本日1日に決定いたしました。

○議長（湊 泰孝） 次に、日程第4、質問を行います。

通告により、順次、発言を許します。

亀岡中学校、赤坂芽衣議員、川勝めぐり議員、出村拓也議員の発言を許します。

[赤坂芽衣議員、川勝めぐり議員、出村拓也議員 登壇]

○川勝めぐり議員（亀岡中学校） 亀岡中学校の川勝めぐりです。

○赤坂芽衣議員（亀岡中学校） 赤坂芽衣です。

○出村拓也議員（亀岡中学校） 出村拓也です。

○川勝めぐり議員（亀岡中学校） まず1点目、「亀岡市への定住者を増やすためには」について、質問します。

亀岡市の人口は9万人を切り、平成14年から連続で減少し続けています。私の自宅の周りにも空き家が多く、人口の減少を実感しています。

日本全体の少子高齢化が進み、人口減少は仕方のない面もあるのですが、近隣の向日市や京田辺市、木津川市など、人口が増加している地域もあります。人口減少が続くと税収入が減り、これから必要になるであろう福祉などの市民サービスの低下が心配されます。

私たちは、亀岡市が進めるべき重要政策の一つとして「人口増加・維持のために定住者と移住者の誘致促進」を提言します。

そこで、現在亀岡市が進めている政策・取り組みについて、以下の点を質問します。

(1) 向日市や京田辺市などは、大阪大都市圏との近さを生かして、人口増加に成功しているように感じます。亀岡市も地理的な条件では同じだと考えます。国道423号の整備など、大阪と亀岡を結ぶ交通網の強化が早急に必要だと考えますが、このことについてどのようにお考えですか。

(2) 京都スタジアム（仮称）を活用した取り組みは、観光業や商業の活性化の側面が強いように感じますが、市の人口増加に寄与するような活用法は何かありますか。

(3) その他、中学生の私たちが知っておくべき「定住者と移住者の誘致促進」のための政策がありましたら教えてください。

○赤坂芽衣議員（亀岡中学校） 次に、災害に強い、安心して暮らせる亀岡市について、質問します。

定住者・移住者をふやすためには、亀岡市が安心して暮らせるまちであることが第一の条件であると考えます。ことしに入ってからだけでも地震や豪雨、台風などにより、甚大な被害が出ました。今後も大きな災害が起こる可能性があり、被害を少しでも減らすための対策が必要であると考えます。

中でも特に心配なのは、災害時の亀岡市の孤立化です。西日本豪雨の際には、国道9号や京都縦貫道、大阪北部につながる道路などが通行どめになり、JRも運休しました。京都市や大阪との交通網が寸断され、人と物の移動ができなくなり、多くの市民の生活に支障が出ました。

亀岡市立病院や京都中部総合医療センターでは、勤務する医師の大半が出勤できず、診療にも影響が出たと聞きます。これは、周囲を山に囲まれた亀岡市にとっては長年の課題だと思えます。

南海トラフなどの大きな地震が予想されている現在、災害が起きても、市民の命と安全を守ることは最も大切です。地震によって被害を受けた大阪や神戸、さらに北近畿からの被災者も避難先として受け入れるべきでしょう。

以上のことについて、亀岡市の防災・減災に対する考えと、現在進められている災害時の避難道路や輸送道路の確保対策について、お聞かせください。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

[市長（桂川孝裕） 登壇]

○市長（桂川孝裕） 亀岡中学校議員の皆さんの御質問にお答えいたします。

まず初めに、亀岡市への定住者をふやすためにはということで、その中で、人口増加に向けた取り組み、大阪と亀岡を結ぶ交通網の強化が早急に必要だと考えるがということですが、本市におきましては、大阪府や京都市の大都市圏と隣接する立地条件を生かして、定住人口やにぎわい人口増加を目指しているところであります。

また、京都府内の道路整備につきましては、平成27年時点で、整備率が約63.5%と、全国平均を大きく下回っています。実は、47都道府県の中で、京都府は下から6番目、41番という都市整備率だと言われていています。これは、長年の京都府の施策の中で、28年ほど、政治的な中で革新知事が出られていたことによって、道路は要らないという時代が続いたことにより、全国平均より大きく、この京都府の道路整備、都市整備率が低いという状況にあります。

そういった中、国道423号につきましては、経済・観光の観点からも、本市と阪神地域を結ぶ重要な幹線道路の一つと考えていますが、現状、特に法貴峠につきましては、急カーブや急勾配が連続し、車両の円滑な通行に支障を来しています。

また、本年7月豪雨により土砂崩落が起こり、10月23日まで通行どめとなり、この23日にやっと片側通行になったところでございます。

災害に強く、急勾配、線形不良区間を迂回するバイパス道路の早期の整備が求められていま

すが、この間、地元を初め関係各位の皆様の御尽力の結果、ことしから工事着手をされて、法貴バイパス整備が始まったところであります。この事業が完成しますと、通行車両の安全で円滑な通行が図られることになり、より一層、阪神地域との結びつきが強まると考えています。早期の工事完成に向け、今後も京都府を初め関係機関へ、強力に要請してまいりたいと考えています。

特にこの国道423号というのは、京都府の管理の道路、3桁国道であります。国道9号は、国の直轄管理ですので、道路によっては市道・府道・国道と、それぞれ管理主体が違うということでございます。亀岡市は、主に市道を管理しているという状況であります。

あわせて、新たに本市と京都市間を結ぶ国道9号のダブルルート化の実現に向け、京都丹波2市1町と歩調を合わせて、関係機関に働きかけを強めてきているところであります。つきましては、冒頭で申し上げましたとおり、大阪都市圏や京都市と隣接する立地条件をさらに生かすために、各方面への交通網を強化することが、将来に向けた本市のさらなる発展につながってまいりますので、より一層の取り組みを進めていきたいというふうに考えているところであります。

次に、京都スタジアム（仮称）を活用した取り組みはということで、スタジアムを活用して、人口増加に寄与するような活用方法はありますかという御質問でございます。

京都スタジアム（仮称）は、亀岡市のにぎわいを創出し、地域経済を活性化させる起爆剤となると、期待しているところであります。また、京都・亀岡保津川公園では、自然豊かな都市公園として整備が予定されているほか、亀岡駅北側の駅前広場は、芝生広場や噴水、遊具を配置して、多くの皆さんに利用していただくような場所にしようと考えておりますし、スタジアムと連携し、各種イベント等を開催して、人を呼び込んでまいりたいと考えているところであります。それによって、本市の魅力をアピールし、定住促進を図りたいと考えています。

なお、亀岡駅北の土地区画整理事業地内の商業ゾーンには、今、ホテル等の誘致をしているところでありますし、また、住宅ゾーンにおいては、150戸の新たな住宅が建設される予定となっております。本市の人口増加に寄与するものと考えているところであります。

次に、定住者と移住者の誘致促進のための政策はないかということでありますが、亀岡市への移住者をふやしていくために取り組んでいる主な施策を少し紹介したいと思います。

まずは、移住者を積極的に受け入れる地域を移住促進特別地域に指定し、区域内の空き家に移住者が入居する場合に、リフォームや家に残る古い家具などを撤去する費用に補助金を出しています。最高180万円の補助金を出せるようになっております。また、亀岡市から一旦出て、何年か住んでおられて、亀岡に戻ってきたいという人に対して、亀岡市として同居、親と一緒に住む場合、また近居といって、親と一緒に住まないのですが、亀岡市内に新たなアパートだとか、家を建てて住もうという方に、最高額で20万円の補助金を交付しております。また、都会から田舎へ移住したい人に向けた移住セミナーを開催したり、東京や大阪で行われる移住フ

フェアに亀岡市が出展して、PRしているところであります。そのほかには、亀岡市へ移住したい人が亀岡に来られた際に、亀岡市を案内したり、また空き家バンクを設置し、空き家を売りたい、貸したいという人と、空き家を買いたい、借りたいという人をマッチングさせるような取り組みも行っているところであります。あわせて、結婚したいけれども、これまで出会いがなかったという方に対して、婚活イベントなども今、積極的に開催しているところでございます。

定住者をふやしていくために、さまざまな政策を行っていますが、一番大切だと考えていることは、今、亀岡に住んでいる人たちが、自分の住んでいるまちに誇りを持つこと、そしてずっと住み続けたいと思えるまちになるよう、まずは自分の住んでいるまちがどんなところかを知ることだと考えています。

これから亀岡を担う中学生の議員の皆さんにも、亀岡がもっと住みやすくなるためには、どんなことが必要なのか、ぜひとも考えて、また提案していただきたいというふうに思います。

他の質問につきましては、関係理事者から答弁いたします。

○議長（湊 泰孝） 総務部長。

○総務部長（河原正浩） 総務部長、2番目の質問の災害に強い安心して暮らせる亀岡市について、答弁いたします。

本年は地震や台風など、大きな被害を及ぼす災害が多く発生しました。7月豪雨では、西日本を中心に3日以上降り続く記録的な大雨となりまして、多くの死者や行方不明者が出る甚大な被害となりました。亀岡でもお一人の市民の方がお亡くなりになる惨事となり、改めて災害への備えを強化する必要があると思っております。

先ほど御指摘があったように、7月豪雨の際にはJR嵯峨野線が運休、そして京都縦貫自動車道、国道9号を初め、主要幹線道路のほとんどが通行どめとなり、通勤、通学といった人の移動や、また食料などの物流がストップするなど、本当に市民の皆さんの生活に大きな影響を及ぼしたところです。国道など、道路の通行どめがあったときは、道路管理者と連携して、いち早く市民の皆さんに防災メールやSNSで情報提供しています。しかしながら、通行どめによる孤立化を解消するには、やはり災害に強いインフラ整備が課題でございます。

先ほど、桂川市長からもダブルルートのお話ございましたけれども、現在、亀岡と京都市内を結ぶ新たな道路建設の必要性を、国や京都府に要望しております。こういった新たな幹線道路は、亀岡市だけでなく、南海トラフ地震など、多くの避難者を受け入れる際の主要な道路としても、非常に重用であると考えています。

大雨のほうにいきますと、先日、おおむね千年に一度の最大規模の降雨があった場合を想定した桂川などの洪水浸水想定区域図というのが、京都府から公表されました。市民の皆さんには、住んでいる地域の状況などをハザードマップで確認していただいて、学校や家族で避難場所やその方法などを話し合うこと、そして各家庭で水や食料などを備蓄すること、そういった

災害に対する備えをお願いしたいと思います。そして、大雨や台風時の危険が予想されるときは、気象情報や災害情報を有効に活用して、適切に自身の身を守る行動をとっていただきたいと思います。

最後に市役所では、防災や減災に向けて、防災無線の整備を計画しておりますし、このほど、アウトドア用品大手企業のモンベルと協定いたしまして、防災イベントの開催なども検討しており、今後も市民の防災意識を高める取り組みを行ってまいります。

以上でございます。

○出村拓也議員（亀岡中学校） 質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 次に、別院中学校、稲原由里秋議員、糸井万琴議員、磯部紗希議員の発言を許します。

[稲原由里秋議員、糸井万琴議員、磯部紗希議員 登壇]

○稲原由里秋議員（別院中学校） 別院中学校の稲原由里秋です。

○糸井万琴議員（別院中学校） 糸井万琴です。

○磯部紗希議員（別院中学校） 磯部紗希です。

○稲原由里秋議員（別院中学校） まず1点目、別院地域について、質問します。

私たちの住んでいる別院地域は、亀岡市の南部に位置し、大阪府に隣接している山合いの緑豊かな場所です。道路の横には山がそびえ、田畑が続き、きれいな川も流れています。別院地域の山は、登山やハイキングをするのに適した高さであり、もう少し登山道が整備されればよいのと思います。

江戸時代に石門心学を説いた石田梅岩は、この別院地域で生まれ育った人で、生家跡があります。農業が中心ですが、特殊ばねの製造で世界的な企業や、地元産の木材を活用している会社など、ユニークな産業もあります。

亀岡市の中心部から別院地域までは車で20分程度の距離ですが、その道路はところどころ狭く、大型車が離合しにくい箇所が幾つかあります。7月の大雨のときには、何カ所かで土砂崩れや道路の陥没が起こり、亀岡市街地への道が通行どめになりました。今でも復旧できていない箇所があります。もし、道路が今以上に整備されたら、亀岡市街地からのアクセスもよくなり、人や物の交流も盛んになると思います。

○磯部紗希議員（別院中学校） そこで、提案です。

(1) 別院地域等の周辺部を維持・発展させるため、道路を整えるとともに、公共交通機関を整備していただきたいです。

(2) 登山やハイキングが気軽に安全に楽しめるよう、道路の整備や森林浴用の施設の建設をお願いしたいです。

(3) 郷土の偉人である石田梅岩にちなんだ施設の建設や、豊かな自然を活用した観光の振興を図っていただきたいです。

(4) 地元で就職できるよう、企業等の誘致を図っていただきたいです。さらに、若いファミリー層が暮らしやすいような施策を考えてほしいです。

○糸井万琴議員（別院中学校） 次に、2点目、別院中学校について、質問します。

私たちの通っている中学校は、山合いの学校なので夏は涼しいと思われるかもしれませんが。確かに早朝のうちは涼しいと思いますが、授業が始まるころには、かなり暑くなり、午後の教室は気温30度をゆうに超えています。また、建設されてから35年以上たつ校舎は、雨漏りする箇所が幾つかあり、大雨や台風のときには、廊下や階段がぬれることがあり、危険です。

そして、最も気になる課題は、生徒数の減少です。全国的な少子化の波は、この別院地域も例外ではありません。十数年前には百人を超えていた生徒は、現在21人です。しかし、少人数の学校だからできることや、豊かな自然環境を生かした農園活動、田植えや稲刈り、畑での野菜の栽培などのユニークな取り組みがたくさんあります。何より、生徒一人一人のつながりが強く、また、誰もが傍観者ではなく、主体的・積極的に行動するというよさがあります。

地域の方の中学生に対する期待も強く、職場体験や地域の行事の時などに、よく声をかけてくださいます。

○磯部紗希議員（別院中学校） そこで提案です。

(1) 学校の施設・設備を充実させ、安心かつできるだけ快適に学校生活を送れるようにしていただきたいです。特に、市内の他の中学校では既に設置されているクーラーを、早急に設置してほしいです。

(2) 一人一人の特性や個性を尊重するとともに、主体性を伸ばせるという少人数のよさを持つ別院中学校を、ぜひ今後も存続させてほしいです。地域に学校が存在することで、地域を継続的に維持・発展させることが可能になると考えます。小学校で実施されている特認校制度の活用等、でき得る工夫をして、別院中学校の存続をお願いしたいです。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

[市長（桂川孝裕） 登壇]

○市長（桂川孝裕） 別院中学校議員の皆さんの御質問にお答えいたします。

別院地域についてということで、まず初めに、別院地域を維持・発展させるために道路を整えるとともに、公共交通機関を整備していただきたいということでもあります。

別院地域が発展していくためには、道路整備は不可欠だと思っております。ことしの7月もそうでありまして、この間の多くの自然災害、豪雨等がありますと、土砂崩れ等によって、東別院町、西別院町に行くそれぞれの国道や府道が通行どめになったということで、皆さん方には御迷惑をかけたと思っております。

そういった中、国道423号につきましては、法貴バイパス事業として、急カーブや急勾配の連続する法貴峠区間の整備を進めるべく、今月の2日に、地元で組織する国道423号整備促進協

議会により、起工式が行われ、工事着手されたところでもあります。その他の主要道路につきましても、災害に耐え得る道路として強靱化を図っていく必要があると考えており、京都府を初め、関係機関との協議をし、また要望をしているところでもあります。

また、別院地域には、現在、ふるさとバスの別院コースが運行しており、通学や通勤の利用者を含め、幅広い年代の市民の皆さんに御利用いただいているところでもあります。さらに、東別院町では、自治会が中心となって、町内の住民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、ワンボックス車両を用いて、1日1回、週3日の乗合運行が実施されており、この自治会の取り組みに対して、本市からは補助金を交付して、支援を行っています。この取り組みは、西別院町でも地元の体制を整えば実施できると考えています。

ただ、ふるさとバスの別院コースにつきましては、1年間の運賃収入が311万円ほどであります。しかし、1年間このふるさとバスを運行するのに3,087万円ほどかかるわけでありまして、全体の1割が実際、利用者からの収入ということになり、残りの9割は亀岡市が負担しているという状況になっております。したがって、まずは既存のバスを多くの皆さんに利用していただき、運賃収入を増加させていくことが必要だというふうと考えておりますし、運賃収入が増加することで公共交通を維持し、さらには充実させるための経費を確保することができますので、中学生の皆さんにも、積極的にバスを利用していただきたいと思っております。

次に、登山やハイキングが気軽に楽しめるよう、道路の整備や森林浴用の施設の建設をお願いしたいという御質問でございます。

亀岡には多くのハイキングコースがあり、京阪神等からのアクセスもよいことから、毎年たくさんのハイカーが訪れます。別院地域においては、平成21年に石田梅岩「石門心学」の講舎開講280年を記念して、「石門心学まなびの道」が整備され、毎年梅岩ウォーキングが開催されるなど、多くの方がハイキングを楽しまれているところでもあります。また、平成27年には、京都学園大学との共同研究の一環として、「かめおかり道トレイルマップ」が作成され、本市の外周約70キロメートルをめぐるルートには、別院地域の湯谷や倉谷、鎌倉等の里道も含まれているところでもあります。

そのほか、当地域にはイギリスの田舎町を細部まで再現したドゥリムトン村や、犬甘野そばを楽しむことができる季楽など、観光客に人気のスポットがあり、御提案をいただきました森林浴用施設については、これらの人気コースや施設等と周遊を念頭に、建設可能性や効果等について、研究してまいりたいと考えております。

次に、石田梅岩についてであります。

豊かな自然を活用した観光の振興を図っていただきたいということでございますが、郷土の偉人、石田梅岩は、人の人たる道を説き、石門心学として大成されました。この教えを根幹に据え、亀岡市は昭和63年3月に、全国に先駆け、生涯学習都市宣言を行い、市政を推進しているところでもあります。ことしは、生涯学習都市宣言から30周年の年に当たりまして、来年は石

田梅岩が京都で心学講舎を開講してから290年の節目を迎えるところであります。これを機に、東別院町南掛の梅岩生誕地周辺を整備し、現在ある記念館を建てかえ、多様な学習機会も提供できる施設を建設することを目的に、ことし3月、市内の多くの方の賛同を得て、梅岩の里生誕地整備実行委員会を設立いたしました。施設の詳細につきましては、今後、実行委員会で検討しながら進めていきますが、これからの亀岡市のまちづくりを担う別院中学校の皆さんからも、施設はもとより、地域の観光振興も見据えた意見を提案いただきたいと思います。

また、この施設の建設にかかる費用は、ふるさと納税や亀岡市民からの寄附を活用し、進めていくこととしておりまして、6月から寄附募集を開始したところでありますが、現在、亀岡市内外から250万円の寄附をいただいているところであります。特に別院地域では、これまでから石田梅岩を顕彰されており、東別院小学校の校庭には胸像が設置され、毎年9月24日に生誕地で開催される墓前祭には、地元の保育園児や小・中学生が、地域の歴史教育の実践として参加されることを、大変喜んでいるところであります。別院地域の豊かな自然や、今後整備する梅岩の里生誕地一帯を活用することで、観光振興も図っていききたいというふうに考えているところであります。

次に、地元で就職できる企業の誘致を図っていただきたいと思いますというところでございます。

別院地域は、豊かな自然環境が多く、古くから名水が流れる地域として有名で、遠方から訪れる人は絶えないところであります。さらにことしの3月には新名神高速道路が開通し、物流の円滑化が図れることとなったため、新名神に近い別院地域での企業立地や、大阪圏からの移住者を期待しているところであります。

そのような中、別院地域を移住促進特別区域に指定しており、空き家や農地を活用し、移住したときや、移住者が店舗や事務所を開設し起業する場合に補助金を交付し、移住の促進または地域の活性化が図れるよう取り組みを進めているところであります。

また新たに企業立地を促進するため、亀岡市企業立地奨励金制度なども紹介しながら、市外の企業に、別院地域の利便性もPRしていきたいと考えているところであります。今後におきましても、一層の職住一体のまちづくりに努めてまいりたいというふうに考えております。

他の質問につきましては、担当の部長から説明させます。

○議長（湊 泰孝） 教育長。

○教育長（田中太郎） 教育長、別院中学校についてということで、質問にお答えさせていただきます。

まず最初に、クーラーの設置についてであります。中学校施設へのエアコン設置につきましては、平成29年度から計画的に整備を進めておりまして、平成30年度も引き続き整備を進めました。ことしの夏は、特に全国的に猛暑で、別院中学校だけでなく、市内のエアコン未整備の学校については、大変暑い思いをされて、授業や体調管理で大変影響もあったというふうに思っています。

こうした状況も受けまして、教育委員会といたしましても、別院中学校を初め、エアコン未整備の市内の全ての小・中学校へのエアコン設置を最優先の課題であるということで、進めていく計画をしております。快適な教育環境となるように努めてまいりたいと思いますので、もうしばらく辛抱してください。

二つ目の特認校制度の活用と別院中学校の存続についてということで、御質問をいただきました。特に別院中学校では、今、質問にもありましたように、一人一人の個性や特性を尊重して、主体性を伸ばす教育を進めておられ、その重要性に気づき、さらに伸ばそうとしていただいていることについて、大変たくましさを感じたところであります。

学校規模の大小については、皆様方も感じているというふうに思いますが、それぞれメリット、デメリットがございます。

この学校規模適正化の取り組みにつきましては、現在、東・西別院小学校については、地域コミュニティの核ということで、特色ある小規模特認校制度により、存続していこうと。一方、中学校につきましては、中学校卒業後、さまざまな場面で社会とのかかわりを考えると、一定、大きな集団生活の中で学ぶことが大切であるというふうに考えています。そのため、別院中学校の生徒数の推移を見きわめながら、よりよい教育環境となることを目指し、現状、南桑中学校への編入ということで、計画案を地域の皆様方にお示ししているところでございます。

しかし、地域の皆様方とは、十分な意見交換も行えていない状況にあります。市内の中学生同士がさまざまな機会を通して交流を図りながら、学校規模適正化やまちづくりについて考えていただくことを、改めてお願いしたいと思いますし、教育委員会としましても、皆さんはもちろん、保護者の皆さん方や地域の方々の声を聞きながら、子どもたちの教育はどうあるべきかということ、一緒に引き続き考えていきたいと考えています。

以上です。

○稲原由里秋議員（別院中学校） 以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 次に、南桑中学校、権安日向議員、谷本美咲議員、宗川さくら議員の発言を許します。

[権安日向議員、谷本美咲議員、宗川さくら議員 登壇]

○谷本美咲議員（南桑中学校） こんにちは。南桑中学校の谷本美咲です。

○権安日向議員（南桑中学校） 権安日向です。

○宗川さくら議員（南桑中学校） 宗川さくらです。

○谷本美咲議員（南桑中学校） まず1点目、子育て支援について質問します。

最近の少子化の影響により、南桑中学校の生徒数がかなり減少しています。また、これは、南桑中学校だけでなく、亀岡市全体の人口を見ても、問題になっているのではないのでしょうか。

そこで、子どもを産み、育てやすい環境をさらに整えることで、亀岡の人口減少を抑えるだけでなく、これからの時代を担っていく若い世代もふえるのではないのでしょうか。

今でも、子どものいる世帯へのサポートがありますが、さらに街灯をつけたり、子どもが安心して遊べるような場所、保育施設をふやし、小学生未満の子どもがいる世帯には必需品の割引カードを配布するなど、子育て支援をさらに手厚くしていただきたいです。

校区である大井町並河の工業団地周辺では、住宅地が造成されており、子どもを持つ世帯がふえることが期待されます。そのため、子育てしながら仕事ができる環境づくりが、今後重要となってくるのではないのでしょうか。市が保育サービス等の子育て支援を充実させることで、若い世代が亀岡に集まることになると思います。これからの亀岡市の子育て支援について、お聞かせください。

○権安日向議員（南桑中学校） 次に2点目、環境保護と防災対策についてです。

ことしに入り、気象が不安定になり、地震や大雨などのたび重なる災害で、日本各地で多くの被害が出ていました。亀岡市内では、道路の通行どめによる渋滞や、JRも運休したことで、陸の孤島と化していました。広島県などでは、前に大きな土砂崩れがあったにもかかわらず、今回、死者、安否不明者が200人を超えていました。

日本は山が多く、この亀岡市も山に囲まれていて、いつ何時、大地震や大雨で災害に襲われるかわかりません。人なら誰もが、安全で快適な生活を望むでしょう。しかし、この地球上にいる限り、絶対的に安全なところはないと私は思います。

では、亀岡市ではどのような対策をすれば、少しでも安全なところに近づくのでしょうか。このことは、大きな危険が起き、命の危機を感じた人しか考えないのかもしれませんが、でも、それではどう考えても遅いですよね。そのためには、土砂崩れ対策の砂防ダムだったり、河川やため池などの堤防チェックは、私たち中学生では、とてもじゃなくできません。学校や地域での避難訓練やハザードマップなど、一人一人の心がけが第一の安全対策ですが、やはり亀岡市として安全にするには、それなりに費用や労力を要しますが、必要不可欠であると思います。被災後の復興を考えると、事前の対策への費用のほうが生かされるのではないのでしょうか。

より安全に近いまち、そして亀岡として誇れるまちに近づくことを希望します。

○宗川さくら議員（南桑中学校） 私たちは5月に修学旅行で東京に行きました。駅から外へ出る際に、亀岡市との空気の違いにとてもショックを受けました。京都市内から30分程度と足を運びやすく、とても豊富な自然が亀岡市にはあちこちに広がっていると思います。現在でも、霧のテラスやコスモス、彼岸花など、観光客を時々目にするがありますが、山に囲まれた美しい自然環境が、まだ亀岡市にはたくさんあり、水もとてもきれいでおいしいので、アウトドア向けの観光客をさらに呼び込むこともできるのではないのでしょうか。

しかし、亀岡市にはアユモドキなど絶滅危惧種がいます。災害や人間の活動によって破壊された分は、人の手で取り戻さなければなりません。植林や河川の環境保全によって、絶滅危惧種の生物も救うことができ、温暖化を抑えることにもつながると思います。

そのためにも、まずは亀岡市民が緑化を心がけたり、ポイ捨てなどをなくすように広く呼びかけていくことが必要だと思います。これからの亀岡市の防災と環境保護について、お聞かせください。

以上で質問を終わります。御清聴ありがとうございました。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

[市長（桂川孝裕） 登壇]

○市長（桂川孝裕） 南桑中学校議員の皆さんの御質問にお答えいたします。

子育て支援についてであります。御指摘のとおり、本市の人口も9万人を割り込み、人口減少が続いております。この状況を変えていくためには、全ての子育て家庭が安心して子育てができるような環境づくりに取り組み、子育て家庭が、憧れるまち、また住み続けたいまちと感じていただき、本市で子育てをする家庭をふやしていくことが大切だと考えているところであります。

そのための取り組みとして、妊娠期から出産、子育てに至るまで、切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターBCome（びーかむ）の設置や、子育てに関する相談や支援、手続などの総合的な窓口となる子育てワンストップ窓口の整備など、子育て支援の拠点の整備を初め、3人以上のお子さんがある子育て家庭の経済的な負担を減らすため、病院の通院受診時に支払う費用への助成額を手厚くする医療費助成制度の変更、仕事と子育ての両立が図れるよう、利用しやすい保育サービスの充実や、放課後児童会の対象学年拡大に取り組むなど、安心して子育てができるような環境づくりを進めてきているところであります。

今後も、市民の皆さんと一緒に、地域ぐるみの子育て支援に取り組み、子育て家庭が安心して子育てできるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えているところであります。

他の質問につきましては、担当部長から説明をさせます。

○議長（湊 泰孝） 総務部長。

○総務部長（河原正浩） 総務部長、2番目の環境保護と防災についての、主に防災についての答弁を行います。

6月18日に発生しました大阪北部地震以降、7月豪雨や台風が連続して発生し、亀岡市でも大きな被害がございました。特に山間部の地域では、地震後の地盤のゆるみも影響して、大雨による土砂崩れが各所で発生し、その復旧には長い期間を要しているところです。

これらの被害に対して、亀岡市では、傷んだ道路や河川の修復、ため池のパトロールなど、可能な対策を講じているところです。また、個人のお家の修理に対しても、一定の基準はございますけれども、補助金を交付して、支援しているところです。

現状としまして、亀岡市内には、土砂災害警戒区域といいまして、がけ崩れなどが起こりやすい区域が500から600カ所ぐらいあります。大雨のときには用心が必要です。その情報は、土砂災害ハザードマップで見ることができ、これは各戸に既に配布しておりますし、ホームペー

ジでも見るすることができます。山間部の地域にお住まいの人は、自分の家の周りに危険がないかを確かめ、大雨など災害の危険性があるときは、早目に避難していただくよう、呼びかけを行っているところです。

亀岡が誇る豊かな自然環境も、災害時には脅威となって大きな被害をもたらすことがございます。そこに暮らす私たちは、美しい自然と自分たちの生活との調和を図ることが大事ですし、自然の恐ろしさを十分理解することも重要です。これからも集中豪雨による洪水や土砂災害などに備えて、一人一人の心がけが必要不可欠とおっしゃっていただきました。一人一人の防災意識を高めていけるよう、今後もさらに啓発を行っていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 環境市民部長。

○環境市民部長（塩尻知己） 環境市民部長、環境行政について、お答えをいたします。

亀岡市の環境行政につきましては、環境の保護・保全、それとごみの処理を行っております。環境の保全に関する基本的施策の推進や、ごみ処理のほうは、循環型社会の構築を進めていくということでございます。

まず、環境保全の施策につきましては、天然記念物でもございますアユモドキの保全活動に象徴されます生物多様性の維持向上、また、省エネルギー対策による地球温暖化対策、さらには、清掃活動による美化意識の啓発と、漂着ごみの発生抑制などがございます。

今、亀岡市で進めております中で、特徴的な取り組みといたしましては、亀岡市と民間企業で設立しました電力会社、亀岡ふるさとエナジー株式会社によりまして、亀岡市内の小・中学校などへの電力供給を行っております。今後、近いうちに、自然エネルギーでございます亀岡市内の太陽光発電施設で発電された電力による電気の供給を予定しているところでございまして、ますます環境保全につながる取り組みを進めてまいりたいと考えております。

また、ごみ処理の分野では、現在、焼却と埋め立ての二つの最終処理施設がございしますが、その延命化に取り組むことで、環境の保護に取り組んでおります。亀岡市では、将来にわたって美しいふるさと亀岡を残すため、徹底したごみ減量施策を展開いたしまして、環境にも将来世代にも大きな負担となるごみ処理施設は新たにつくらない、そういう施策へと大きくかじを切ることとしまして、世界に誇れる環境先進都市を目指し、大人になる皆さんに向けた決意表明として、本年3月に亀岡市ゼロエミッション計画を策定し、順次取り組みを進めているところでございます。

環境保護、環境保全の取り組みは、多角的な戦略のもとに、官民が協働して長期的なビジョンを持って、継続的に進めていくこととなります。また、いかなければなりません。次代を担う皆さんと一緒に、こうした取り組みを進めることができれば、大変大きな力になるということは間違いございません。この議会を契機として、我々と一緒にこの取り組みの推進をよろしく願いいたします。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 権安日向議員。

○権安日向議員（南桑中学校） 先ほど、防災のことにに関して答えていただいたときのつけ足しという形になるのですけれども、中学生一人一人の心がけが大切と言っていたのですが、中学校とかこういう公共団体でできる運動というのはありますか。

○議長（湊 泰孝） 総務部長。

○総務部長（河原正浩） 総務部長、お答えします。

中学校や公共施設でできる対策ということの御質問だと思いますけれども、やはり地震などは特に、いつ、どこで起こるかわかりません。学校にいるとき、通学しているとき、また、お家にいるときなど、どの場所でも、まずは自分がこの場でもし被災したらどうすればいいのかと、シミュレーションを一人一人が心がけることが大事なのですけれども、そういう意味では、学校とか公共施設等にいる場合は、その学校で行われる通常の避難訓練とか、そういったところにも真剣に参加して、いつでも、そういうことが起こったときに対応できるような心構えを身につけていくことが大事だと思います。

以上です。

○権安日向議員（南桑中学校） ありがとうございます。

○宗川さくら議員（南桑中学校） 以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 次に、育親中学校、久保優也議員、野口千皓議員、水野友瑛議員の発言を許します。

[久保優也議員、野口千皓議員、水野友瑛議員 登壇]

○野口千皓議員（育親中学校） 育親中学校の野口千皓です。

○久保優也議員（育親中学校） 久保優也です。

○水野友瑛議員（育親中学校） 水野友瑛です。

○野口千皓議員（育親中学校） まず最初に、教育の平等性について、質問します。

エアコンを設置することは、教育環境の整備としてとても重要なことだと思います。世界は地球温暖化の問題に直面していて、近年の猛暑は耐えがたいものがあり、ニュースなどでも、「危険な暑さ」「災害」という表現がされているほどです。そんな暑さの中では、集中して勉強ができません。

エアコンの有無だけで勉強の効率は大きく変わってきます。扇風機だけでは風の当たるところに偏りが出てしまいますし、体育や体を動かした後の授業では汗がとまりません。また、勉強面だけではなく、健康安全の面にも問題が生じ、熱中症、最悪の場合には死に至る可能性がある環境で、学校生活を送らなければなりません。

去年、育親中学校と別院中学校以外の中学校にはエアコンが設置されました。さきに述べたことを考えると、これでは中学校ごとに学力等の格差が生じ、授業における公平さがなくな

ってしまいます。10年、20年もすると、エアコンのある中学校出身の人とエアコンのない中学校出身の人で、学力の差、就職の差、収入の差など、多くの不平等を生みかねません。授業の不公平さは、その中学生の将来を徐々に変えていってしまっている可能性があります。

エアコン設置については、もう過ぎてしまったことですが、同じ市内で設置時期が異なることになった経緯について、詳しく説明してください。また、施設の整備など、今後の学校教育において、何か施策などがある場合は、平等になるようにしてもらえないでしょうか。

○久保優也議員（育親中学校） 次に、安全なまちづくりについて質問します。

育親中学校の校区である畑野町は、夜になるととても暗いです。暗いことによって、さまざまなデメリットが生じます。

まず、交通安全が確保できません。歩行者の立場からすると、夜に街灯が少ないと暗くて危険で、歩くのも不安でいっぱいです。車や自転車を運転する人の立場からしても、暗いところから急に人が出てくるなど、いつも以上に気を張って運転しなければならない、事故を起こしてしまうかもしれないという不安とストレスのため、運転に支障がでてしまいます。

また、街灯が少なく暗いまちだと、その分治安が悪いのではないか、暗くて気味が悪いのではないか、というような印象を与えてしまいます。その結果、人が流出することにもつながりますし、新しく引っ越しを考えている人も、別のまちに考え直すことにつながります。何十年と長い目で見ていくと、人口減少につながると思います。

亀岡以外でも同じような問題を抱えているところはあると思いますが、人口減少を食い止め、数十年後の亀岡市の明るい未来のためにも、今、この段階で街灯の数をふやしていただけないでしょうか。

○水野友瑛議員（育親中学校） 最後に、公園の重要性について質問します。

公園には幾つかの役割があると思います。

一つ目は、「体力を養う場」だということ。幼少期の子どもにとって、外で遊ぶという経験は身体のさまざまな神経系統の発達に非常に有効です。また、日本はついに超高齢社会に突入しました。生産年齢人口の減少から考えると、60歳を過ぎても働かなければならない時代が目の前にやってきました。そのときにはやはり、ある程度の体力が必要ですが、高齢になってから体力をつけるのは難しいものがあります。50年、60年という長いスパンでこの国のこと、亀岡市のことを考え、幼少期から基礎となる体力をつけておくことがとても重要であると思います。

二つ目は、「地域のコミュニケーションの場」であるということです。老若男女問わず、幅広い世代の人が自由に集い、知らない人同士が顔見知りになり、時には話を交わし、知り合いになり、人と人がつながる場となり、その地域のきずなが生まれ、そして深まっていきます。そうしたきずなは地域の活性化をもたらし、災害など、地域に危機が迫ったときに地域全体が協力し、助け合うことにつながっていくはずで

これらのことから、目には見えづらいですが、公園がその地域に果たす役割は大きく、そして深いものがあります。公園の数をふやしたり、公園をより充実した施設にするなどの検討をしていただけないでしょうか。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

[市長（桂川孝裕） 登壇]

○市長（桂川孝裕） 育親中学議員の皆さんの御質問にお答えいたします。

教育の平等性について、特にエアコン設置についてでございます。

中学校エアコン設置については、全ての学校を平等に設置できなかったことに対し、おわびを申し上げます。

平成29年度から計画的に進めておりますが、平成29年度は市内中学校5校に設置させていただきました。育親中学校、別院中学校については、おくれたことは大変申しわけなく思っておりますが、標高が高いということ、また市内よりも少し涼しいということもあったのかもしれませんが、そういう状況の中でおくれたというのは、大変申しわけなく思っています。

育親中学校については、ことしの夏過ぎまでにエアコンの設置を完了したところでありますが、別院中学校については、この9月議会で補正予算を議会にお願いし、来年の3月までに実施設計を行い、来年の3月補正で設置するため、予算をつける予定で、今、準備を進めております。来年の夏までには何とか設置できればと考えているところでございます。

エアコン設置には多額の費用がかかります。市の財政状況を見きわめながら進めていること、そして国の補助金を活用しながら実施していることもあり、市内全ての中学校に一斉にエアコンを設置することが難しかったことが挙げられます。また、市立学校全体で、施設の老朽化によるトイレの洋式化や改修等、さまざまな面から、教育環境の整備を進めていく必要があるということで、段階的にこれも進めているところであります。

今後においても、先ほどもありましたように、雨漏りの件、またトイレの改修の件、そして通学路にかかわる安心安全の件も含めて、亀岡市としてしっかり取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいというふうに思います。

後の質問につきましては、担当部長から説明をさせます。

○議長（湊 泰孝） まちづくり推進部事業担当部長。

○まちづくり推進部事業担当部長（並河悦郎） まちづくり推進部事業担当部長、お答え申し上げます。

2番目の安全なまちづくりについて、街路灯にかかる質問でございます。

亀岡市内における街路灯、防犯灯とも申しておりますが、平成30年1月末時点で、地元の自治会や区などで管理いただいております防犯灯が9,124灯ございます。また、亀岡市が管理しているものが562灯ございまして、合計で9,686灯設置されているところでございます。

御質問内容と同様に、街路灯の設置要望は毎年各町自治会から数多くいただいているところでありまして、亀岡市としましても、街路灯の効果、また必要性については、十分認識していますことから、可能な限り、要望にお応えしたいと考えているところでございます。

しかしながら、先ほども申しましたが、設置要望が相当数ございますので、一度に全てを実施するのが困難な状況でございます。そういったことから、小・中学校の通学路、また歩行者の通行が多い道路等を優先的に設置を進めているところでございます。

また、亀岡市で防犯灯を設置した場合でも、設置した後は、地元の自治会で維持管理、また電気料金の負担をお願いすることになることから、地域の方と協議しながら進めているところでございます。

また、既に設置されています地元管理の街路灯につきましても、蛍光灯からLED灯具へ交換される場合、市から補助金を出す制度を設けております。LED化によりまして、照度のアップ、また電気料金の削減にも取り組んでいるところでございます。

今後も引き続き、安全・安心のまちづくりに努めていきたいというふうに考えております。

次に、公園の重要性についての質問でございます。

公園の役割につきましては、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が利用されておりまして、自然とのふれあいやレクリエーション活動、運動や文化活動等、多様な役割を果たす施設として、また、地域の活性化、また地域コミュニティの拠点として重要な役割を果たしているということは、認識しております。亀岡市内には、運動公園を初め、亀岡市が管理する公園が、都市公園として35公園ございます。また、自治会等で管理いただいている開発公園が155カ所ございます。市民1人当たりの公園面積は7.73平方メートルでございます。お隣の京都市の1人当たりの公園面積が4.86平方メートルでございますので、一定、1人当たりの面積は充足しつつあるのかなというふうに考えております。

現在、亀岡市では、周辺に生息するアユモドキ等の生息環境に配慮した施設整備や、子どもたちが自然観察や農業体験ができる場を整備し、自然と共生する総合公園として、京都・亀岡保津川公園の計画を進めているところでございます。また、亀岡駅北や大井町、千代川町で進められております土地区画整理事業によるまちづくりとあわせて、新たな公園の設置、また整備を進めているところです。特に亀岡駅北地区では、新たに住まわれる方の憩いの場、また運動ができる場として5つの公園、また、駅前ロータリーに隣接したところには、その周りに遊具、ステージ、噴水等を設けた広場の整備も計画しております。

それから、既にもう利用いただいています都市公園の施設につきましても、利用していただいてからもう30年以上経過している古いところもございますので、遊具や設備の更新など、安全対策や長寿命化対策を現在優先的に実施しているところです。更新の際には、地元の要望等も聞かせていただきまして、遊具の選定なども行っております。

また、開発公園の施設につきましては、日常管理を地元の自治会等で行っていただいております。

それに対する補助金の制度も設けておりまして、遊具更新や修繕に活用いただいているところでございます。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 水野友瑛議員。

○水野友瑛議員（育親中学校） 育親中学校の校区内で新たに公園の設置などを計画されているところはあるのですか。

○議長（湊 泰孝） まちづくり推進部事業担当部長。

○まちづくり推進部事業担当部長（並河悦郎） 育親中学校の校区内での計画はございません。育親中学校、大変周辺は自然も豊富なところであると思いますし、いろいろ体を動かす場所もあるのかなというふうに思いますので、そのあたり、工夫して体づくりをしてもらうとか、そういったことでよろしくお願ひしたいなというふうに思います。親御さんに送り迎えしていただくというようなことも必要かもしれませんが、既にある公園も積極的に利用いただきましてらというふうに思います。

○水野友瑛議員（育親中学校） ありがとうございます。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） これで、前半の質問が終了しました。

前半の質問内容について、自由に議論を交わす自由討議をしたいと思う中学生議員はございませんか。ある場合は、挙手をお願いいたします。

吉田瑞穂議員。

○吉田瑞穂議員（大成中学校） 先ほど、育親中学校の質問にもありました、街灯をふやしてほしいという意見ですが、最近では、高校生でも夜遅くになることがあったり、仕事をしている方も夜遅くになるし、小・中学生でも塾に行っている人が多くなってきて、夜遅くに家に帰るといふ人がふえていると思います。ですので、育親校区だけでなく、亀岡市全体で街灯の設置をふやしてほしいと思うし、できるだけ早い実現になればいいと思っています。

以上です。

○議長（湊 泰孝） ほかにございませんか。

権安日向議員。

○権安日向議員（南桑中学校） 育親中学校の公園の重要性について、私も意見があります。

どこの区でも町でも、子どもは外で活発に動くことが大事だと思っていて、今は住宅地がふえていますが、その周りで遊ぶ子どもたちが道路で遊んでいたりと、誰かの家でゲームをしていたりと、外で遊ぶにも危険な面が多くて、中で遊んでいる子が多かたりすると思うのですけれども、そこで、公園がなかったら外で遊ぶこともできないし、中で機械を使って遊んだりとか、コミュニケーションがうまくとれないという子がふえたりとか、将来を見るとマイナスな面が大きいのではないかと思います。

亀岡市だけではないのですけれども、公園をふやすことを推進して行ってほしいと思います。

○議長（湊 泰孝） 出村拓也議員。

○出村拓也議員（亀岡中学校） 先ほど、別院中学校の意見にもありましたが、地元で就職できるよう、企業等の誘致を図っていただきたいなどの意見があったのですが、亀岡市全体の人口が減少している中で、別院中学校の区域あたりの負担がさらにふえているように感じるので、中心部と別院中学校の区域のつながりを深めて行ってほしいなということと、そのために、道路を整備したり、ほかにもハイキングの道路を整備するのは大事だと思います。

○議長（湊 泰孝） ほかにございませんか。

松田療議員。

○松田 療議員（大成中学校） 亀岡中学校や南桑中学校にもあったとおり、災害について、インターネット、メールなどで避難などの情報が伝わってくるのは知っているのですが、高齢者などインターネットなどが家庭にもない家庭もあるのではないかと思います。そういう家庭にはどのような対策を行っているのか、知りたいです。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 中澤大河議員。

○中澤大河議員（亀岡川東学園） 育親中学校の安全なまちづくりということで、街灯のことに触れられましたが、市道のほうには街灯は多くつけられているのですが、農道のほうに入っていきますと、どうしても街灯がなくなってしまって、もう暗くて道が見えない状態があるので、農道のほうにも街灯をふやしてほしいなと思います。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 赤坂芽衣議員。

○赤坂芽衣議員（亀岡中学校） 別院中学校の質問にあった、別院地域等の公共交通機関の整備についてですが、バスを亀岡市民が活発に利用していくことで、整備が整っていくとおっしゃっていましたが、まずその別院地域に足を運ぼうという、何か建物であったり、イベントであったりがないと、たくさんの方が利用することは望めないのではないかと思います。だから、イベントや催しを行ったり、設備を充実させていくことを優先的に考えていったほうが良いと思います。

○議長（湊 泰孝） ほかにございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（湊 泰孝） それでは、ここで自由討議を終了したいと思います。

暫時休憩いたします。

午後 2時02分休憩

午後 2時13分再開

○議長（湊 泰孝） 休憩前に引き続いて、会議を開きます。

次に、東輝中学校、柴山幸議員、小林希颯議員、園山来海議員の発言を許します。

[柴山 幸議員、小林希颯議員、園山来海議員 登壇]

○園山来海議員（東輝中学校） 東輝中学校の園山来海です。

○小林希颯議員（東輝中学校） 小林希颯です。

○柴山 幸議員（東輝中学校） 柴山幸です。

○園山来海議員（東輝中学校） 私たち東輝中学校から、大きく分けて、三つの項目について質問したいと思います。

初めに、亀岡市の交通網の整備等についてです。

まず、亀岡駅のロータリーの混雑・マナー改善についてですが、バスの駐車スペースに送迎の乗用車が停車していて、事故になりかねない状況です。また、ロータリーを横断する歩行者がとても危険です。

そこで、私たちから提案があります。

南口ロータリーは公共交通機関に限定し、北口ロータリーを乗用車専用の待機所にしてはどうでしょうか。

次に、駅に関連することなのですが、亀岡駅や馬堀駅は、朝の通勤時に混雑すると、ホームから転落する危険性があります。特に馬堀駅は、狭い上に快速が通過するため、市内の駅でも危険です。そこで、駅にホームドアを設置することはできないでしょうか。

次に、災害時の亀岡市の交通網についてですが、先日の西日本豪雨では、亀岡市でも土石流が発生し、お亡くなりになった方もおられました。また、先ほど亀岡中学校や南桑中学校の質問にもありましたように、多くの道路が寸断され、鉄道も運休したため、長時間「陸の孤島」状態になりました。

そこで、国道9号以外に、災害時にも対応できる京都市内とを結ぶ幹線道路を建設してほしいです。

そのほかにも、南つつじヶ丘桜台地域は、縦貫道上の架橋が災害で破損した場合、ライフラインが寸断されるので、その対応策を考えてほしいです。

これら以外にも、自家用車利用台数削減のため、市内のバス料金を統一運賃とし、補助等で安くして、利用者の増加を図ってほしいです。

亀岡市の交通網の整備等については、以上です。

○小林希颯議員（東輝中学校） 次に2点目、亀岡市の将来像について質問します。

最近、校区内でも少子高齢化が進んでいるように感じています。ある調査の結果では、約20年後、亀岡市では、20代から30代の女性の人口が現在よりも半減するという深刻なデータも発表されています。働く女性が一生住み続けたいと思えるまちづくりを進めることが、少子高齢化対策にもつながると考えます。定住したいと思える亀岡市にしてほしいと考えます。

そこで、私どもから提案が6点あります。

1点目は、働いている人たちに出会いの場を提供するなど、市を挙げてもっと婚活を推進してはどうでしょうか。

2点目は、全国的な保育士不足という問題がある中で、亀岡市は人材確保をどう進めていくのでしょうか。

3点目は、10人に1人が産後うつになるとされていますが、産後ケア事業の認知度を高めたり、事業を気軽に利用したりできる工夫をどのように考えていますか。

4点目は、地元でUターンしたくても仕事がないという話題が、地方都市では多く聞かれます。若者が長く働くことができる場所をどのように創出しようと考えていますか。

5点目は、市民生活を支える学校の先生や保育士、介護士などをされている人は、過酷な仕事内容に比べて賃金が低く、休職したり離職されたりする人が多いと聞きます。公共サービスの安定と向上という観点から、亀岡市独自で仕事内容に見合った賃金を確保することはできないでしょうか。

6点目は、2020年大河ドラマが「麒麟がくる」に決定しました。今後、イベントや広報活動を充実されることで、観光客の増加も見込まれます。この機会を一時的なものにせず、放送終了後もぜひ継続できるようにしてほしいと考えますが、現在、具体的な計画は考えられているのでしょうか。

以上です。

○柴山 幸議員（東輝中学校） 三つ目の項目は、学校等の公共施設の整備についてです。

その中で、私たちから三つ質問があります。

一つ目の質問です。

東輝中学校は、東日本大震災以降「银杏の取組」を通して、福島県双葉町の双葉中学校の支援を行い、交流を深めています。しかし、遠方であるため、手紙や電話での交流に限定されています。今後、お互いの顔を見た交流を進めたいと考え、スカイプ等を利用した交流を模索していますが、中学校のパソコンにはソフトが入れられないとの回答があり、企画が頓挫しています。ちなみに、双葉中学校では既に導入されており、近隣の中学校とテレビ会議を実施されています。

そこで、学校内のパソコンにテレビ電話アプリを導入すれば、市内の生徒会交流も容易にできるのではないかと考えます。また、テレビ会議ができるため、先生方の放課後の出張が減り、放課後の部活動に来てもらえることがふえると思います。

二つ目の質問です。

6月の大阪北部地震では、大変怖い思いをしました。東輝中学校は既に校舎の耐震化はされていますが、創立から40年となり、校舎自体も老朽化が進んでいると思います。また、登校途中や朝練中であつたため、安否確認がなかなかできず、とても心配したと家族から聞きました。

そこで、亀岡市内の公共施設の耐震化は大丈夫でしょうか。また、迅速に安否確認ができる手段をどう確立していくのでしょうか。

最後の質問です。

現在、京都スタジアム（仮称）が建設されています。完成後は京都サンガのホームゲームに活用すると聞いています。

そこで、亀岡市や口丹の中学校の大会や体育祭等の学校行事、各地区の住民運動会などに、無料もしくは低料金で利用することは可能なのでしょうか。

以上で東輝中学校の質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

[市長（桂川孝裕） 登壇]

○市長（桂川孝裕） 東輝中学校議員の皆さんの御質問にお答えいたします。

まずは、亀岡駅のロータリーについてであります。

御質問のとおり、以前から特にＪＲ亀岡駅南ロータリーについては、慢性的な混雑や長時間駐車等のマナー違反が見られていましたが、平成29年度から亀岡市駅前送迎用スペース管理条例を定め、送迎用スペースの駐車時間を30分に制限するなど、また、罰則付の制度を設けたということも含めて、多くの利用者に適正かつ快適に利用いただけるよう、取り組みを行ったところであります。最近では、そういったマナー違反等の苦情を受けることも少なくなり、一定の効果があらわれてきているというふうに考えています。

また、亀岡駅北地区においては、現在、土地区画整理事業が実施されており、北口ロータリーについては、この区画整理事業とあわせて新たに生まれかわろうとしております。ちょうど、亀岡シティホール、あのセレマのところの交差点と駅北口を結ぶ新たな道路の整備を進めており、開通後は南北ロータリーの利用の分散も期待できる場所です。リニューアルされたロータリーの利用形態については、駅北地区のまちづくり完成後の状況を見ながら、快適に利用できる施設となるよう、適正な管理に努めていきたいと考えている場所です。乗用車は南口、北口、それぞれ利用しやすい地域があることから、北口ロータリーに限定し、乗用車専用の待機場を設けることは、現在のところ困難であるというふうに考えている場所です。

次に、駅のホームドアについてであります。

公共交通における安全性の確保は常に求められているものであり、近年、ホームへの転落事故が多発していることから、鉄道事業者においても、転落事故を未然に防ぐため、ホームドアの設置が進められている場所です。ただ、全体として見ると駅の数は大変多くて、その全ての駅にホームドアを設置することは、ＪＲのほうも費用面や利用客数等から、大変難しい状況と聞いている場所です。

したがって、優先順位を定めて、順次整備を進めていくことが基本となるというふうに聞い

ているところであります。

国土交通省の基本方針によると、1日当たりの乗降客数が10万人以上の駅については、ホームドア等の整備を優先して実施することとなっております。また、1日当たり乗客数が1万人以上の駅については、内方線付き点状ブロック等の整備を可能な限り速やかに行うこととなっているところであります。

馬堀駅については、1日当たりの乗降客数が、平成29年度において9,512人であり、ホームドアの設置基準だけでなく、内方線付き点状ブロックの設置基準も満たしておりません。ちなみに、亀岡駅は1日乗降客数が1万7,860人であり、内方線付き点状ブロックを既に整備しているところであります。したがって、今後、馬堀駅においては、乗降客数の増加を見込み、鉄道事業者において、内方線付き点状ブロックの整備に向けた取り組みが進められることになるというふうに思っているところであります。

次に、国道9号老ノ坂、やはりこの間の災害によって、通行どめになりました。本市と京都市を結ぶ幹線道路につきましては、国道9号と並行して京都縦貫自動車道が京都市西京区と接続しているところであります。しかしながら、国道9号も京都縦貫自動車道も、一定の雨量に達すると通行規制が行われます。京都市と往復ができなくなりますので、御指摘のとおり、7月豪雨の際には、物流も含め、一時的に陸の孤島の状況になったところであります。

本市といたしましても、災害時の代替道路として、また、慢性的な渋滞が発生している国道9号の渋滞緩和対策として、京都市とを結ぶ新たな幹線道路となる国道9号のダブルルートの実現に向け、国土交通省など、関係機関への働きかけを今、進めているところであります。京都市においても、今後新たなその検討委員会を設けるというふうに言っているところでございます。

災害時に国道9号や京都縦貫自動車道の代替道路となり得るルートにより、道路整備を進めていく必要があるというふうに強く感じておりますので、今後とも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、南つつじヶ丘桜台地域についてでございます。

本市では、災害により交通網が破損し、物流やライフラインが寸断された場合などの事故・災害を想定して、亀岡市地域防災計画を策定しているところであります。道路の寸断等により、陸上輸送が困難な場合は、災害協定に基づく復旧工事やヘリコプターの活用など、適切な対策を実施することとしております。なお、ヘリポートは、桜台地内にある大日谷公園を予定しているところであります。ここがランデブーポイントとなっているところであります。

道路については、南つつじヶ丘桜台4丁目から篠町をつなぐ市道平松寒谷線がありますので、こちらが使えればこちらに迂回していただくことになる予定でございます。

そして、次に、バス料金、統一運賃としてはどうかということですが、本市のバス交通は、市が運営しているコミュニティバスとふるさとバス、そして民間路線として、京阪京

都交通バスの3種類があります。コミュニティバスは150円の均一運賃、ふるさとバスはエリアに応じて150円と200円の2種類の運賃としており、既に亀岡市が多額の補助を行い、比較的わかりやすい運賃体系で運行しているところでもあります。

一方、京都京阪交通バスは、距離によって運賃が変わる距離制運賃となっているところでもあります。これらのバス料金を統一し、さらにコミュニティバスのように均一運賃にすれば、わかりやすくなると思いますが、その一方で、運賃収入は減少し、現状のバス交通が維持できなくなる可能性が高まります。特に民間路線である京阪京都交通バスへの影響は相当なものになるというふうに思います。

また、補助金で運賃を安くして利用者増を図ってほしいとの御提案ですが、既に多額の補助を行っていることに加え、現在、70歳以上の市民については敬老乗車券を販売しており、1回当たり125円で市内一円、どの路線でも乗車いただけるようになっているところでもあります。また、土曜日や日曜日限定で、市内のバスが乗り放題となる1日乗車券を500円で販売しているところでもありますし、これらは市が補助金等を出して実施しているものでございます。

さらに、コミュニティバス、ふるさとバスの運行を維持するために、毎年1億円以上の経費を行政が負担しているところであり、さらに補助金を出して運賃を安くすることは、現状で相当困難な状況だと考えているところでもあります。

したがって、まずは既存のバスを多くの皆様に利用していただき、運賃収入を増加させていくことが大切であると考えます。運賃収入が増加することで、公共交通を維持し、さらには充実させるための経費を確保することができますので、中学生の皆さんにも、御家族の皆様にも、積極的にバス利用をお願いしたいというふうに思うところでもあります。

後の質問につきましては、それぞれ担当部長から説明をさせます。

○議長（湊 泰孝） 理事者の皆さんに申し上げます。

質問時間が超過しておりますので、端的な答弁をお願いいたします。

市長公室長。

○市長公室長（藤村かをる） 市長公室長、お答え申し上げます。

大きい2番、亀岡市の将来像についての1番目、婚活の推進についてお答え申し上げます。

このたびは、婚活の推進についての提案、ありがとうございます。全国的に生涯にわたって結婚しない人がやはりふえていて、亀岡市でも未婚の人がふえている状況です。そんな中で、亀岡市でも出会いの場を提供するために、実は平成29年2月から、婚活イベントを実施しております。平成30年9月末までに13回実施しております、延べ325人に参加してもらいました。具体的には、犬好きの人、集まってください、あるいは本好きの人、今度この企画、どうぞお集まりくださいというような形で実施しています。その中でカップルになった人たちも59組ありまして、何とその中から、2組が御結婚されたというような、うれしい御報告もいただいているところですよ。

今後も引き続き、婚活イベントを実施いたしまして、結婚したいけれども、これまでなかなか出会いがなかったという方に、1人でも多く結婚してもらえるようにしていきたいと考えております。そしてぜひ、亀岡市に定住していただきたいと、そんなふうに思っております。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 健康福祉部子育て支援担当部長。

○健康福祉部子育て支援担当部長（吉田 恵） 健康福祉部子育て支援担当部長、お答え申し上げます。

まず、全国的な保育士不足の中で、亀岡市は人材確保をどう進めていくのかという質問についてですが、本市では保育士確保に向け、広報紙やホームページでの募集や、京都府で開催される保育士就職面接会の広報などを積極的に行っています。また、大学などから保育実習生を積極的に受け入れ、将来を担う保育士の養成に協力するほか、保育の仕事に興味のある方や保育現場への復帰を考えている方を対象とした研修会を開催するなど、新たな人材確保に努めています。

本市の保育士の採用状況ですが、平成28年度は6人、平成29年度は5人、平成30年度につきましても5人を採用しているところでございます。

中学生の皆様の中には、職場体験で保育士を選ばれて活動された方もいらっしゃるかと思います。多くの方が将来の職業として、未来を担う子どもたちを育てる保育士を目指していただけると、大変うれしく思います。

また三つ目の、10人に1人が産後うつになるとされているが、産後ケア事業の認知度を高めたり、事業を気軽に利用できる工夫をどうしているのかという質問でございますが、本市におきましては、妊娠の届け出時に母子手帳を交付しております。この母子手帳を発行する際に、妊娠の状況や子育ての協力体制などの相談、面談を行い、一人一人の子育てマイプランを通じて、産後ケア事業を紹介しております。

また、産前産後を通じた相談や訪問、産婦人科との連携など、早い段階からのつながり支援により子どもの障害や疾病、お母さんの心身の状態、育児不安や子育ての協力体制などを把握し、必要な対象者に事業の説明を積極的に行っております。今後も、子育て世代包括支援センターを中心とした、産前産後の切れ目のない支援やネットワークなど、相談しやすい体制を生かしながら、気軽な相談と事業の利用につなげていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 再度申し上げますが、理事者の答弁を、短くしてください。

産業観光部長。

○産業観光部長（柏尾寿和） それでは、産業観光部長、4点目の働く場所に関する質問について、お答え申し上げます。

亀岡市につきましては、京都縦貫自動車道が名神高速道路と直結したということで、交通ア

クセスが非常に向上しておりまして、企業誘致にとって非常に高いポテンシャルが魅力ということになっています。特に大井工業団地につきましては、多くの企業が誕生いたしまして、市民の雇用拡大につながっております。また、篠町の牧田地区、これは京都縦貫自動車道の篠インターのすぐ近くでございますけれども、新たな企業用地として開発の計画もされているところで、本市としても広報、企業誘致などを応援していきたいとしております。

また、本市におきましては、現在、企業は人手不足という状況になってございまして、これにつきましても、関係する機関と連携を図りまして、長く働くことのできる企業の選択に役立てていただく情報を、各市内の企業について、情報を発信してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 教育長。

○教育長（田中太郎） 先生方につきましては、皆さんが安心して学校生活が送れるように、懸命に皆さんを支えて頑張らせていただいております。公立学校の先生方の給与につきましては、京都府が一定の基準に基づいて負担しておりまして、これに亀岡市が独自に上乘せすることはできないことになってはいますが、その仕事内容が考慮されていて、一般の行政職の公務員とは異なる給与となっています。それでも先生方には、大変忙しい思いをしていただいておりますので、国からも働き方改革を進めなさいということも聞いておりますので、亀岡市としても、皆さんと向き合う時間や、あるいは授業準備に十分な時間がとれるように、先生方の働き方改革を現在進めているところでございます。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 健康福祉部子育て支援担当部長。

○健康福祉部子育て支援担当部長（吉田 恵） 続きまして、保育士の状況でございます。

民間保育園の保育士については、国の基準に基づいて、市が民間保育園に支払うお金をもとに、賃金改善が行われております。そのほか、保育士の処遇改善を目的とした補助金を民間保育園に交付し、保育士が働き続けられる環境づくりに努めています。また、公立保育所の保育士については、市の規則に基づき、職種に応じた給料を支払っているところです。

さきの質問にもありましたが、全国的な保育士不足の中で、人材の確保は重要な課題であることから、今後もさまざまな取り組みを進めてまいります。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（栗林三善） 健康福祉部長、お答えいたします。

介護士についての状況でございます。

高齢化に伴いまして、介護士を初めとする介護職員の安定的な確保が全国的な課題となっております。このため国は、介護職の給与を増額する方法といたしまして、介護職員処遇改善加算という制度をつくっております。平成29年4月には、制度の拡充が行われたところでござい

まして、その結果、1年前と比べますと、1人平均月1万3,660円、給料がアップしたとの報告があるところでございます。

なお、亀岡市が独自に給与等の改善策を実施いたしますことにつきましては、近隣の市町の介護職員不足を招くおそれもございますので、慎重に対応することが必要と考えております。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 市長公室長。

○市長公室長（藤村かをる） 市長公室長、お答え申し上げます。

大河ドラマ「麒麟がくる」を契機とした観光客の増加のための計画について、お答え申し上げます。

この大河ドラマ「麒麟がくる」の麒麟というのは、王が仁のある政治を行うときにあらわれる神聖な生き物、瑞獣とされています。過去を振り返りますと、時代の変革期に、京の都に近い地理的条件であるこの亀岡、この地で、鎌倉幕府打倒の挙兵の旗揚げをして室町幕府を開いた足利尊氏、そして、この地から、戦国時代を終わらせる本能寺の変で織田信長を討った明智光秀のように、この機会に、亀岡市全体でさらなる発展を遂げる時がきたというふうに考えております。

東京オリンピックが行われる2020年は、亀岡市にとっても、京都スタジアム（仮称）の完成、そして大きな節目を迎える大きなメモリアルイヤーということでありますので、この明智光秀の謀反人のイメージを覆す、勇猛果敢かつ理知的な天才明智光秀を描くこの大河ドラマに、大きな期待をしております。

この大河ドラマの放送というのは、大変、その地域に大きな経済効果をもたらすと言われておりまして、中でも大河ドラマ館を設置するということが、大きな経済効果、観光客の誘致につながるというふうに言われておりますので、経済界を初めとした各種団体で構成する大河ドラマ「麒麟がくる」亀岡市実行委員会を設置いたしまして、今、計画を進めているところでございます。

さらに地元の特産品、そしてストーリーの組み合わせによって、光秀ゆかりの名産品開発を積極的に進めて、このドラマを契機に、魅力に満ちた亀岡市の歴史的な資源や観光振興、持続的な地域経済の活性化を図っていきたいと考えております。

それに、きのうからオープンいたしました、光秀ゆかりの城下町で整備しました宿泊施設、「離れ」にのうみ、そしてまた、亀岡駅北で計画されているホテル、そこに泊まれる方なども有効活用いたしまして、新たな観光資源の活用や観光ニーズの発掘など、皆さんがもう一度亀岡を訪れたい、そういうリピーターをふやしていきたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 教育部長。

○**教育部長（山本善也）** 教育部長、学校内のパソコンへのテレビ電話アプリの導入について、お答え申し上げます。

現在、教育環境を整える取り組みを積極的に進めており、今年度は先生方のパソコンを更新いたしました。それも含めて、インターネットの活用では、ウイルス感染や個人情報が流出しないように、厳重な対策を行っております。このため、学校の授業で使用するパソコン端末では、スカイプを初めとしたテレビ電話アプリは使用できないこととしております。しかし今後は、テレビ電話アプリを利用するための専用端末を導入するなど、市内外を問わずに、活発な学校間交流や学校情報の発信などができるよう、充実を図ってまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○**議長（湊 泰孝）** 会計管理室長。

○**会計管理室長（田中美良）** 会計管理室長、お答え申し上げます。

亀岡市内の公共施設の耐震化は大丈夫かという質問についてでございますが、亀岡市内の全ての小学校・中学校において、現時点で耐震化は全て完了しております。その他の公共施設については、本市が設置する公共施設を安全で適正に管理するために、平成28年9月に制定いたしました亀岡市公共施設等総合管理計画において、計画的に耐震化を図ることとしており、順次耐震化を進め、市民及び施設利用者の安全の確保に努めているところでございます。

以上でございます。

○**議長（湊 泰孝）** 教育部長。

○**教育部長（山本善也）** 続きまして、迅速に安否確認ができる方法でございますが、登校中や部活動の朝練中、また、在校時に発生した場合については、耐震化されている教室等に児童生徒等を集めて、安否確認と安全の確保を図ることとしております。その上で、学校情報メールや学校のホームページで緊急情報の発信を行い、保護者の皆さんに伝えていくこととしておりますので、学校情報メールにまだ登録されていない保護者の方がおられましたら、皆さんからも登録を勧めていただければというふうに考えております。

以上です。

○**議長（湊 泰孝）** 総務部長。

○**総務部長（河原正浩）** 安否確認の手段の確立ですけれども、一般市民の方の安否確認も重要な課題ですけれども、市役所だけではできませんので、自治会や自主防災会と連携して、情報の収集に当たっています。それを市役所で集約して、災害対応や市民の安否確認をしているのを承知しておいてください。

以上です。

○**議長（湊 泰孝）** まちづくり推進部長。

○**まちづくり推進部長（竹村 功）** まちづくり推進部長、お答え申し上げます。

私のほうからは、京都スタジアム（仮称）の関係の御質問にお答えさせていただきます。

京都スタジアム（仮称）は、京都府の施設として、京都府が建設し、京都府において運営業者に委託して、管理・運営される予定となっております。スタジアムの活用につきましては、京都サンガの試合以外にも、ラグビーやアメリカンフットボールなど、各種スポーツ大会やまたコンサートといった催し、また室内に設置されたクライミングウォールを利用した競技大会等のさまざまなイベントが開催される予定となっております。

亀岡市としましても、スタジアムを広く市民に利用していただくため、亀岡市民デーの実施や、市民が地域行事等で利用する際の利用料金の減額・免除の規定、会議やレクリエーション活動等を行う集合スペースの整備についても、京都府に要望を行ったところでございます。ただし、料金設定や具体の利用状況につきましては、本市の要望事項も踏まえ、スタジアムの健全な経営に向けて、京都府において決定されることとなります。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 柴山幸議員。

○柴山 幸議員（東輝中学校） 学校等の公共施設の整備についてのところで、テレビ電話を利用した近隣中学校との生徒会交流などについてですけれども、双葉中学校との交流をもっと深めたいと私たちは考えているので、私たちが使えるパソコンではなくて、先生たちが管理されているパソコンにテレビ電話アプリを導入することは可能なのでしょうか。

○議長（湊 泰孝） 教育部長。

○教育部長（山本善也） 先生方のパソコンに導入するというのは、ちょっと難しいと考えますので、皆さんが利用されますテレビ電話アプリ等の利用について、専用端末の導入などについて、考えていきたいというふうに思っております。

以上です。

○柴山 幸議員（東輝中学校） ありがとうございます。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 次に、大成中学校、吉田瑞穂議員、松田燎議員、馬淵淋平議員の発言を許します。

[吉田瑞穂議員、松田 燎議員、馬淵淋平議員 登壇]

○吉田瑞穂議員（大成中学校） 大成中学校の吉田瑞穂です。

○松田 燎議員（大成中学校） 松田燎です。

○馬淵淋平議員（大成中学校） 馬淵淋平です。

○吉田瑞穂議員（大成中学校） まず、亀岡市の公共施設の整備について質問します。

災害時や年末年始は、まちの診療所が閉まってしまい、大型病院に患者さんが集中しますが、その大型病院でさえ、患者さんを受け入れてくれないという声を聞きます。このことにより、災害時や年末年始の医師、病院不足がわかります。そこで、大型病院をふやしてほしいと思

ます。

また、災害時、年末年始等、患者が多いのが予想される時は、医師が泊まれるようにし、患者さんへの対応ができるようにしてほしいです。

最近、共働きの家庭がふえています。そのため、保育所に子どもを預ける家庭が多いです。しかし、保育所側も人手不足で、対応ができていなかったり、長時間労働になっていると思います。

そこで二つ目が、夜間の保育所を設置してはどうでしょうか。また、昼間の保育所から夜間の保育所への送迎をすれば、人手は要りますが、1人当たりに対する労働時間は少なくなると思います。しかし、二つの場所に預けるとなると保育料が高くなり、家庭の負担が大きくなるので、市から補助を出してほしいです。そうすることで、子育て世代が住みやすいまちになり、人口増加につながると思います。

近年、子どもの体力不足やけががふえています。その原因は、公園の遊具の減少や、ボール使用禁止などのルールが厳しくなり、外で自由に遊べないことだと考えます。遊具の減少の理由として、遊具を正しく使用できていないためにけがが増加し、危険なため、撤去されていると考えます。

そこで、ボールが自由に使えたり、いろいろな遊具を使える大きな公園をつくってほしいです。さらに要望としては、みんなが自転車で行ける距離につくってもらいたいです。また、けが等については、正しい使い方を保護者がきちんと教えるべきだと思います。

○松田 燎議員（大成中学校） 次に2点目、学校の教育環境の整備について、質問します。

大成中学校は創立から35年となります。学校内の設備は創立当時のままであり、老朽化も進んでいます。特に気になっているのはトイレです。

まず、校舎のトイレは、目隠しのない男子トイレの前を通り、女子トイレへ行かなければなりません。女子は、男子トイレが目に入ってしまったたり、男子は通る人を気にしてしまったりと、恥ずかしい思いをしています。手洗い場に関しても、独立していないので、手を洗いに行く人、トイレへ行く人が一斉に動くと、大変混雑するつくりになっており、けがをする人も出てくるのではないのでしょうか。そして、女子は男子トイレの前では恥ずかしくて、遠慮して手を洗うことができません。そのことから、トイレに行くことを我慢している生徒も多くいます。健康によくないです。

また、トイレは一つだけが洋式でその他は和式なので、ここでもまた、トイレに行くことを我慢したり、洋式トイレに行きたい生徒が順番待ちをしていたりするなど、私たちの健康上によくないと思います。

○馬淵淋平議員（大成中学校） 次に、大成中学校の体育館についてです。

体育館は雨漏りがひどいです。雑巾やバケツを置いて対応していますが、部活動中や体育の時間に足を滑らせてしまうおそれがあり、集中して活動ができません。また、体育館を使用す

る際、違う部活動が体育館を半分ずつ使うときもあるので、ボールなどが飛んできて危ないときがあります。夏は暑くて熱中症の危険性もあります。

なので、体育館の雨漏りを直して、真ん中に仕切りのネットをつけるようにしてほしいです。また、熱中症対策で、クーラーを設置してほしいです。

以上で質問を終わります。

○議長（湊 泰孝） 質問者に申し上げます。

グラウンドのトイレの質問が飛びましたので、もう一度質問を行ってください。

○松田 燎議員（大成中学校） グラウンドのトイレは、全体的に新しくきれいなトイレにしてもらいたいです。全体的にトイレが暗いので、明るくしてほしいです。このことについて、健康上よくないので、早急にしていただきたいです。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

[市長（桂川孝裕） 登壇]

○市長（桂川孝裕） 大成中学校議員の皆さんの御質問にお答えしたいと思います。

まず初めに、公共施設の整備について、大型病院をふやしてほしいという質問でございます。

亀岡市内には亀岡市立病院と、4つの民間病院があり、隣接する南丹市には、南丹圏域の中核病院である京都中部総合医療センターがあります。この6つの病院のうち、3病院が救急告示病院となっております。亀岡市内、診療箇所が54カ所ありますけれども、ここと連携をとりながら、診療に当たっていただいているほか、本市の特徴として、京都市内の病院や医療機関を受診する市民も多い状況だというふうに認識しております。

また、医療に欠かせない人材を見てみると、例えば人口10万人に対し、医師数は全国平均が241.3人に比べ、南丹圏域は185人と少ない状況にあり、医師、看護師等の医療従事者の確保が課題となっているところであります。

御質問にありました、診療機関の休診が多い日曜日、祝日、年末年始については、亀岡市医師会、亀岡市薬剤師会の協力を得て、亀岡市休日急病診療所を開設し、平成29年度は延べ71日間で2,284人の方の診療を行ったところであります。

なお、京都府が地域包括ケア構想をもとに、平成30年3月に策定した京都府保健医療計画において、2025年を目標年次として取り組みを進めている南丹圏域のベッド数は、1,430床と定められております。そのほぼ全数が既に稼働しており、南丹圏域で、身体と生命を守る体制が整備されているところであります。ということは、大型病院をつくるのは、ベッド数がやはり、予定数もう満床ということになっておりますので、現在のところ、つくることはできないという状況でございます。

次に、夜間保育についてでございます。

亀岡市には、公立・民間・認定こども園を含めて、17園の保育園がございます。現在、9園

の保育所、認定こども園で延長保育を実施しており、園により、多少時間は異なりますが、最長午後8時まで、保育に対応しているところでもあります。現在のところ、夜間保育所の設置の予定はありませんが、多様化する保育ニーズに応えられるよう、今後も利用者の皆さんの御希望の把握に努めていきたいというふうに思っております。

なお、保育料については、収入に応じて決定しており、子どもの人数によって減額措置があるなど、家庭の状況に応じた保育料となっているところでもあります。

次に、ボールが自由に使えたり、遊具を使える大きな公園をつくってほしいということです。

その中で、亀岡市内の都市公園や開発公園は、小さな子どもからお年寄りなどが利用される地域の憩いの場となっており、ボールの使用は思わぬけがや事故につながるため、公園利用者や周囲の建物、走行中の車両などの安全確保面から、広場の広さや公園周辺の状況により、ボールの使用を禁止している公園が多くあるところでもあります。ボールを自由に使える広場を備えた大きな公園をふやすことは、大変難しいところではありますが、大成中学校に最も近いところでは、大井町工業団地内にある大井西部公園は、ボール遊びが可能であります。きょうはそこで、ハロウィーンの何かイベントをやっているようであります。

また、自転車で行けるところに公園をつくってほしいということでございます。市民の皆さんが自転車で行ける距離に公園をつくることは望ましいことと思っておりますが、現状ではなかなか難しい状況です。大成中学校の近くでは、千代川町高野林・小林地区において、土地区画整理事業による新たなまちづくりが進められており、そこに新たに住まわれる方々の憩いの場として、ボール遊びは難しい状況ではありますが、4つの公園整備が計画されているところでもあります。また、大井町の南部地域での土地区画整理事業においても、5つの公園が整備されるということで、今、進められているところでございます。

さらに、アユモドキ等の生物多様性の保全に配慮し、子どもたちが自然観察や農業体験ができる、自然と共生する総合公園として、京都・亀岡保津川公園の計画を進めているとともに、亀岡駅北地区においても、土地区画整理事業による新たなまちづくりとあわせて、5つの公園と駅前広場の計画を進めるなど、多くの市民が快適で潤いを感じることができ、にぎわいの創出につながる公園整備に、現在努めているところであります。

いずれにしても、公園等を利用する場合は、正しく遊具を使わなかったり、ボールを使用してはいけない公園で使用すると、思わぬけがや事故につながるおそれがありますので、保護者の方が公園を利用する際のルールを教えてくださいいただくことは大切なことであるというふうに考えております。

誰もが安全・快適に公園を利用していただけたらいいなというふうに思いますし、そのような公園をなるべくつくるように努力してまいりたいというふうに思います。

あとの質問につきましては、担当部長から説明させます。

○議長（湊 泰孝） 教育長。

○教育長（田中太郎） 教育長、大成中学校のトイレとそれから体育館の雨漏り等について、お答えいたします。

亀岡市では、トイレを含めた学校施設の改修というのが、教育環境の整備として大変重要な課題だというふうに考えています。市内の多くの小・中学校は、建設されてから相当年数が経過しておりまして、学校全体の大規模改修を個別的にこの間、進めてきたところであります。トイレにつきましても、市内の多くの小・中学校で、洋式化を含めた整備が必要となっておりますので、昨年と本年度で、3小学校については、トイレの洋式化をしてきたところでございます。今後とも、校舎のトイレを初め、グラウンドのトイレ等については、老朽度合いが高い学校から、計画的に洋式化等を含めて改修を進めてまいりたいと思いますので、もうしばらく御辛抱いただければと思っております。

続いて、体育館の雨漏り、それから防球ネットの設置であります。大成中学校の体育館につきましても、相当年数が経過しておりまして、老朽化によって雨漏りが起こっていることについては、十分聞いているところでありますし、これまでも部分的な修繕を繰り返してきたところでございます。しかし、現状では、雨漏りを完全に抑え切れていないという状況であります。

大成中学校の体育館に限らず、先ほども言いましたように、市内の小・中学校の体育館についても、相当築年数が経過しておりますので、大規模な改修や修繕が必要な状況にあることについては、十分認識しておりますけれども、防球ネットの設置を含め、工事には多額の費用が必要でありますので、この事業については、今後とも計画的に進めてまいりたいというふうに考えているところであります。

もう一つ、体育館のクーラーの設置についてでありますけれども、これについては、それに要する経費、あるいは効果を考えると、学校の体育館にクーラーを設置することについては大変困難であるというふうに考えておりますので、当面、教室、特別教室等のエアコン設置を重点的に進めてまいりたいというふうに思っているところであります。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 吉田瑞穂議員。

○吉田瑞穂議員（大成中学校） 体育館の雨漏りを直してほしいという意見についてですが、雨漏りの箇所は、工事のおかげで大分減りましたが、雨の規模も大きくなっているようで、1カ所1カ所の規模も大きくなってきています。それに、雨漏りの場所を大成中の生徒だけが把握していても、例えば練習試合で、他校の生徒が使うということになって、他校の生徒がそれだけがをしてしまうと、大成中だけの問題ではなくなってしまうのではないかと思います。ですので、できるだけ急速にやってほしいと思うし、まずは雨漏りが直らないと何も始まらないと思うので、雨漏りの措置をできるだけ早く進めてもらいたいと思います。

○議長（湊 泰孝） 教育長。

○教育長（田中太郎） 部分的な補修だけでは、なかなか対処ができない体育館の構造になっているので、これを抜本的に直そうと思うと、相当お金がかかってしまうということになります。これからの議会の中で、予算もつけていただく中で、一定の費用をかけて改修ができるように努めてまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○吉田瑞穂議員（大成中学校） 以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 次に、詳徳中学校、志賀大和議員、山田麻裕議員の議員の発言を許します。

[志賀大和議員、山田麻裕議員 登壇]

○山田麻裕議員（詳徳中学校） 詳徳中学校の山田麻裕です。

○志賀大和議員（詳徳中学校） 志賀大和です。

○山田麻裕議員（詳徳中学校） まず1点目、「観光客がより快適に利用できる駅とは」について、質問します。

私たちの最寄り駅は馬堀駅です。近年、馬堀駅には多くの観光客が訪れています。しかし、利用者が多いにもかかわらず、馬堀駅には快速が停車せず、電車の本数が少ないため、駅が混雑し、不便を感じます。それは、観光客だけではなく、住民の方々も思っていることです。電車がなく、なかなか帰れなかったり、予定時間よりも早くついてしまうことがあります。

さらに、外国人観光客が多いにもかかわらず、案内表示が不十分なので、駅で困っている人を見かけます。このため、中国語や韓国語など、多言語案内表示があると、より利用しやすくなるのではないかと思います。

今後、スタジアムの建設により、さらに観光客数の増加が見込まれます。そこで、多くの観光客が快適に駅を利用するために、具体的な政策があればお聞かせください。

○志賀大和議員（詳徳中学校） 次に2点目、「国際人を育成するために」について、質問します。

亀岡市の中学生は、外国の人と交流したり、生の英語と触れ合う機会が少ないと思います。将来、国際的に活躍できる人を育成していくためには、もっと国際交流を進めていく必要があると思います。

具体的には、姉妹都市であるアメリカのスティルウォーター市を中学生が訪問し、ホームステイや大学訪問、現地の中学生との交流などを経験し、さらなる英語上達を図ることです。あるいは、アメリカの中学生を亀岡市の各中学校に招いて、一緒に学校生活を送り、異国の文化を学べるような企画があればと思います。

このような企画の実現のために、亀岡市から教育支援をしていただき、よりたくさんの中学生が体験する機会を持てれば、新しい亀岡をつくることができると思います。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

[市長（桂川孝裕） 登壇]

○市長（桂川孝裕） 詳徳中学校議員の皆さんの御質問にお答えいたします。

私からは、「国際人を育成するために」についての質問にお答えしたいというふうに思います。

亀岡市においても、国際人の育成は大切だと考えております。そのためには、まず、自国の日本文化を学ぶとともに、特に詳徳中学校で取り組んでおられる、国際理解を深めるための外国人へのインタビューや、交換留学生との交流、国際支援につなげるためのキャンペーン等に取り組み、国際感覚に対する継続した意識を培うことが大切だというふうに思っています。

また、他の小・中学校においても、外国人と交流したり、ネイティブな英語と触れ合ったりする取り組みをしています。例えば、修学旅行や校外学習で外国人観光客などに話しかけ、日本の印象や自国のことを聞いたり、亀岡にお住まいの外国人や留学生をゲストティーチャーとして学校に招いて、自国の文化や生活を紹介していただいたりしております。

本年7月には、台湾の中学校の吹奏楽部が修学旅行の一環で亀岡中学校を訪問し、合同演奏などで音楽を通じた国際交流を行ったというふうに聞いているところであります。

また、市民レベルで国際理解・交流を進める活動をされている亀岡国際交流協会でも、多文化共生の現状や取り組み等を知り、考えるきっかけとなる事業として、ワールドフェスタの開催やホームステイ事業などが行われているところであります。

このような小・中学校の活動や身近な交流を通じて、国際的な広い視野と人権感覚を持って、世界で活躍できる人材を育てていく、また育ててほしいと願っているところでございます。

ついては、御提案いただいているような、多くの中学生が異文化体験できる事業について、ぜひとも財源を確保しながら、近い将来、姉妹都市や友好都市への派遣をしたいと考えているところでございます。

実は、去る10月20日から23日、友好都市の交流をしています中国の蘇州市に行かせていただきました。そこで、蘇州市の副市長といろいろ今後の国際交流の話をする中で、近い将来、亀岡の中学生を蘇州市に送りたいという話をしてきたところでございます。また、できれば、アメリカ、スティルウォーター市、またオーストリアのクニッテルフェルト市にも送れるようなプロジェクトをつくって、取り組んでいきたいなということを考えております。

そのためには財源も必要でありますので、今、ふるさと納税を含めて、いろいろな取り組みをしながら収入確保をしていきたいと考えておりますし、また、いろいろな補助制度も活用しながら、皆さん方が1人でも多く、そういう国際感覚を養えるような海外派遣、短期交流となると思いますが、夏休みなどでそのような取り組みができるように考えてまいりたいと思いますので、期待していただきたく思います。

あとの質問につきましては、担当部長から説明させます。

○議長（湊 泰孝） まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（竹村 功） まちづくり推進部長、お答えいたします。

私のほうからは、観光客がより快適に利用できる駅とはということで、馬堀駅の関係の御質問でございます。

馬堀駅への快速電車の停車、ほかにも嵯峨野線の増便であったり、増発であったりというものにつきましては、毎年、亀岡市と南丹市と京丹波町、この口丹波2市1町で一緒になって、JRに要望書を提出しております。そのように積極的にJRに対して、馬堀駅への停車であったり、増便・増発の働きかけを行っているところです。

それに対しまして、JRのほうから、例えば快速電車をとめるにはこういう条件が必要ですよという明確な基準は示されてはおりませんが、言われておりますのは、やはり利用者の増加、もっと多く利用してくださいということ、今、言われているところです。今後も今以上に多くの方々に利用いただく必要があるというふうに向っているところでございます。

馬堀駅の昼間の利用につきましては、トロッコ亀岡駅へ行き来する観光客が多くあることから、外国人観光客の多いトロッコ亀岡駅には、多言語表示された観光案内マップであったり、馬堀駅とトロッコ亀岡駅までの経路上に、案内板が設置されております。

馬堀駅につきましては、一部多言語表示の案内板が設置されておりますが、通勤・通学に多くの市民も利用されていることから、外国人観光客に向けた取り組みはおくれているように感じております。2020年には、京都スタジアム（仮称）であったり、明智光秀を題材といたしましたNHKの大河ドラマが放映されることなど、さらなる観光客の増加も見込まれることから、本市を訪れられた観光客が、より便利に、安心して利用できるよう、わかりやすい多言語表示の案内板でありましたり、デジタルサイネージ等、そういったものを、さまざまな対応に向けまして、JR・鉄道事業者にも今後、この快速電車であったり、電車の増便・増発であったりも含めまして、働きかけを続けていきたいと考えているところでございます。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 山田麻裕議員。

○山田麻裕議員（詳徳中学校） 馬堀駅のことについて、質問です。

確かに馬堀駅は、ほかの駅と比べて利用者が少ないと感じます。しかし、利用者が少ないからといって快速をとめない、何も変わらないと私は感じています。なので、快速をとめないのではなく、快速をとめることによって利用者をふやすという考え方が必要だと考えています。

例えば、亀岡にはたくさんの観光客が訪れています。しかし、電車の本数が少なく、快速がとまらないと、限られた時間で観光しなければなりません。なので、観光の選択肢として削除されてしまうことがあり、京都に早く帰ってしまうことがあります。快速をとめれば、もっと観光客の人にゆったりと観光してもらうことができると思うので、観光収入もふえ、亀岡にとってもメリットだと考えます。

利用者をふやすために快速をとめるという新しい考え方はいかがでしょうか。御意見をお聞かせください。

○議長（湊 泰孝） まちづくり推進部長。

○まちづくり推進部長（竹村 功） 今の考え方、逆からの発想といいますか、快速をとめることによって、利用者をふやすというような考え方も、大変参考になる御意見というふうに感じました。

先ほども申しましたけれども、JRにお願いには行っているところですが、今までは快速をとめてくださいと言っていましたので、これからは、そのことによって利用者をふやしていくという御意見を中学生のほうからもお聞きしたということも含めまして、また引き続いてそういった要望をしていきたいと思っております。ありがとうございます。

○山田麻裕議員（詳徳中学校） ありがとうございます。

○議長（湊 泰孝） 志賀大和議員。

○志賀大和議員（詳徳中学校） 国際人を育成するためについての追加で、2020年に日本でオリンピックが開催され、亀岡市にもたくさんの外国の人が訪れると思います。そのため、外国の人と小・中学校の交流の場がふえるといいと思いますが、どのような取り組みを行おうと思っているのですか。

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

○市長（桂川孝裕） 2020年、東京オリンピック・パラリンピックの折には、亀岡市もまさにターゲットイヤーだと思っています。特に、なぜターゲットイヤーかといえば、一つは、亀岡の京都スタジアム（仮称）が完成するということが、そこに、いろいろな人に来ていただくように、今、いろいろ考えております。また、その2020年は、亀岡市は空手のホストタウンを、オーストリアの国の空手協会と締結しています。オーストリアから、空手の選手団を受け入れて、市民の皆さんと交流する機会をつくっていきたいというふうに思っていますので、また、中学生の皆さんとも交流ができる場を設定してまいりたいと思っております。

また、東京オリンピックがあるということを基本に、姉妹都市に、ぜひとも亀岡を訪れてほしいという呼びかけもしてまいりたいと思っております。できればそのときに、皆さん方と同じ中学生を、ぜひとも招いてほしいということも、また、私、亀岡市長から、各姉妹都市の市長に対し書簡を送り、ぜひともそういう交流をしたいということを申し述べてまいりたいと思っておりますので、またその節には、御協力をお願いしたいと思います。

以上です。

○志賀大和議員（詳徳中学校） 以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 次に、亀岡川東学園、中澤大河議員、田中未維奈議員、安藤満美議員の発言を許します。

[中澤大河議員、田中未維奈議員、安藤満美議員 登壇]

○安藤満美議員（亀岡川東学園） 川東学園の安藤満美です。

○中澤大河議員（亀岡川東学園） 中澤大河です。

○田中未維奈議員（亀岡川東学園） 田中未維奈です。

○安藤満美議員（亀岡川東学園） まず一つ目に、かめおかフォトグランプリについて提案します。

亀岡市にはいいところがたくさんあります。しかし、京都市内などと比べて、それほど知名度が高いとは言えません。また、亀岡市民でも知らない、いいところが隠れていると思います。そこで、かめおかフォトグランプリ（仮）の開催を提案します。

私たちの学校でも、スマートフォン、タブレットを使える環境にある人は、94%でした。このように、中学生や高校生にとって、インターネットをしやすい環境になっています。それを生かし、ツイッターやインスタグラムを活用し、中学校ごとに、自分たちの校区自慢の風景などの写真を募集し、優秀な作品の表彰を行うことを提案します。

現在でも、「みんなの亀岡自慢あれこれ」というホームページがあり、とても美しい写真などが掲載されていますが、周りに聞いてみても、中学生で知っている人はほとんどいませんでした。そこで、亀岡市の全ての中学校に呼びかけ、このような企画をすることで、まずは地元の私たちが亀岡の魅力を再発見することができ、そこから、亀岡市の魅力を広く発信していけるのではないかと考えました。

○中澤大河議員（亀岡川東学園） そして、具体的には、美しい景色部門、珍百景部門、グルメ部門など、たくさんの部門を設け、インターネットによる投票、一般審査や、審査員による審査によって、多く票を獲得したものを表彰するという内容を考えています。その他にも、桂川市長に選んでいただく市長賞というものがあれば、さらにおもしろくなると思います。なぜなら、桂川市長と市民の交流する場は余りありません。しかし、この場を使えば、市民との交流ができます。さらに、市民は、桂川市長はこんなものが好きなんだといった、桂川市長への関心が深まると思います。

また、皆さんが投稿した写真の場所を地図であらわした亀岡マップをつくり、インターネット上にアップしたり、今、京都スタジアム（仮称）が建設中です。亀岡中学校がおっしゃったスタジアムの活用法として、スタジアムが完成したら、タッチパネル式のマップをつくり、その場所をタップすれば、より詳しい情報がわかるようにしてはどうでしょうか。そうすれば、スタジアムに立ち寄った人が、興味を持って立ちどまってくれると思います。そうすることで、亀岡市内部にも外部にも、亀岡市の魅力を発信することができ、地域の活性化につながるのではないかと考えます。

○田中未維奈議員（亀岡川東学園） 次に二つ目、子育てしやすいまちづくりについて、提案します。

これから亀岡を発展させていくために、移住者をふやすということはとても大切であると考

えます。移住したいと思う場所の条件として、子育てのしやすさが挙げられます。

私たちの住んでいる川東地域では農業が盛んで、とても自然が豊かです。しかし、子育てのしやすさを考えると、子どもたちが気軽に遊べる公園が少な過ぎると思います。

実際に、川東で遊具があつたり、ボールが使用できる公園はほとんどありません。地域によっては公園の多い地域もあるとは思いますが、亀岡市全体で見ると、公園に偏りがあるのではないのでしょうか。

公園の重要性については、育親中学校がおっしゃったように、子どもからお年寄りまで、どんな世代にも健康増進やコミュニケーションを図るために、必要不可欠だと思います。

そこで、どんな世代でも運動のできる大きな公園を亀岡市につくってほしいと思います。子どもが遊べる公園をふやすことは、子育てしやすいまちづくりにつながり、さらには移住の促進にもつながるのではないかと考えます。

以上、質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

[市長（桂川孝裕） 登壇]

○市長（桂川孝裕） 亀岡川東学園議員の皆さんの御質問にお答えいたします。

私からは、かめおかフォトグランプリ（仮）の提案について、お答えいたします。

中学生を対象としたフォトグランプリ、大変いい提案だというふうに思っております。先ほど、亀岡川東学園では、約90%以上の人たちが、そのようなインターネットを使える環境にあるということでありますから、そういう環境があるということをうまく活用させていただきながら、また、皆さん方が日ごろから、どういうところを亀岡の魅力と感じているかということも、ぜひともその写真で表現していただければうれしいというふうに思います。特に川東地域は自然豊かで、またいろいろな文化財、施設もたくさんある場所でありますから、そういうものが多くグランプリの中に出展、応募いただければありがたいというふうに思います。

この事業については、近いうちに、どのようにするかということを検討しながら、また、中学生を対象として、どのような賞を設けるか、今提案もいただきました市長賞も、もちろん設けさせていただきたいと思ひますし、教育長賞も設けていってほしいなというふうに思ひます。また、では誰が審査をするかも含めて、少し時間をいただきながら検討し、具体的な施策に落とし込んでいきたいと考えております。

亀岡市では、今、紹介いただきました「みんなの亀岡自慢あれこれ」ということで、ホームページでInstagram、またTwitterなどで投稿していただいて、その写真を多くの皆さんに見ていただくような取り組みをしております。皆さん、知っているかどうかわかりませんが、かめおか落ち葉アートコンテストというのを、実はその「みんなの亀岡自慢あれこれ」の投稿を活用して、出雲大神宮に、いつも落ち葉をきれいにデザインしたような落ち葉アートがありますが、まさにあれは、亀岡の自然の豊かさをあらわしているというふうに思ひます。

から、そういうものを写真で投稿していただくような、そういうコンテストも、実は昨年度から始めております。まだ、亀岡市が皆さん方にうまくPRができていないということでありますので、今後ぜひともPRをさせていただき、中学生の皆さんからも、自分の学校で、先ほど東輝中学校でぎんなんを拾った、ならば、落ち葉を使ったアートをつくっていただいて、投稿いただくような取り組みにつなげていただくとありがたいと思いますし、亀岡川東学園においても、そんな取り組みをしていただければうれしいなというふうに思っています。

こうして、亀岡の魅力、まだまだ私たちも知らないことがあるかもしれません。皆さん方だけが知っているまちの自慢の場所、自慢の景色、自慢の食べ物を含めて、そういうことが写真を通じて、インターネットで投稿いただければ、大変いい意味、これをまた世界に発信していく、インターネットというのはそういうツールでありますから、そのような取り組みにつなげていきたいというふうに思います。

そして一つ、こちらから報告させていただきますと、実は、「こちら葛飾区亀有公園前派出所」という、あのこち亀の漫画家、秋本治さんが、亀岡を舞台に漫画を描いてくれました。

「ファインダー ー京都女学院物語ー」という本であります。これを、ただ単にコミック雑誌で終わらせることなく、今、実は、高校生・大学生の女性の方々を募集して、約10名の方が応募いただいて、ファインダー女子として、今、カメラを持って亀岡で活動いただいているところであります。ぜひとも中学生の皆さんにも、ファインダー女子になっていただき、亀岡の魅力をいろいろ発信いただくような取り組みにつなげればありがたいと思います。これを亀岡では、「ファインダー ー京都女学院物語ー」の女子広報部というような位置づけで、亀岡市の広報の一つの部門のような位置づけで取り組んでいただいておりますので、また中学生の皆さんにも、そのようなところに参加いただきながら、せっかくいいものがありますから、これをSNS、ツイッター、そして写真を通して、多くの人に知っていただきながら、多くの人が亀岡に来ていただけるようにできればと思っておりますので、また御協力のほど、よろしく願いいたします。

他の質問につきましては、関係理事者のほうから説明させます。

○議長（湊 泰孝） まちづくり推進部事業担当部長。

○まちづくり推進部事業担当部長（並河悦郎） まちづくり推進部事業担当部長、お答え申し上げます。

子育てしやすいまちづくり、移住促進にかかわりまして、公園をふやしてほしいという御質問でございます。

複数の学校から質問をいただいておりますので、答弁が重複すると思いますが、お許しいたきたいというふうに思います。

繰り返しますが、亀岡市が管理する公園が都市公園として35公園ございます。先ほど、育親中学校区には、その都市公園はないというふうに申しましたが、亀岡川東学園の校区には、例

えばさくら公園でありましたり、馬路町には三ツ辻に公園がございます。それから、旭町にも旭公園があるところですし、そういったことが少し広報不足といえますか、周知できていないところはあるのかなというようなことは、少し反省している点でございます。

それと、偏りがあるということがございましたけれども、開発公園は155カ所あるのですけれども、住宅開発に伴い整備されているということもあって、やっぱり市街地に集中しているということがあるのかなというふうに思っております。

いずれにしても、どの公園も小さな子どもからお年寄りまで、また、障害がある方など、多くの皆さんが来られる地域の憩いの場として、活用いただいているというふうに思っております。

繰り返しになりますが、公園をふやす取り組みは、今も取り組んでおりまして、アユモドキの生息環境に配慮した豊かな自然と触れ合い、また農業体験もできる、自然と共生する公園としての京都・亀岡保津川公園の整備、それと、大井町や千代川での土地区画整理事業による公園整備、これも区画整理の事業の面積によって、これだけの広さの公園をとりなさいというような、事業によってそういう取り決めがされていまして、そういうところには公園が充足されていくというような事情があるということも、知っておいてほしいなというふうに思います。そういったところは、新たに住まわれる方に対して、そういう公園を整備することによって、憩いの場であったり、子どもたちが遊べる場、そういったものの整備はできるということかなというふうに思っております。

それから、さらに亀岡駅北でも、先ほど申しました区画整理事業を進めておりまして、そこでも公園の整備、また駅前の広場の整備を行っておりますけれども、そういった公園では、近くで建設されますスタジアムの来客者、そういった方にも利用していただく、そしてにぎわいを創出できる、そういったことによっても、交流人口であったり、亀岡の魅力と捉えてもらって、移住促進につながると、そういうふうになっていくのかなというふうに思っておりますし、ここに新たに住まわれる人のための公園でもありますので、遊具等の設置も考えているところでございます。こういった取り組みを進めることによりまして、市全体として、子育てしやすい環境づくりや経済・観光の活性化、にぎわいの創出、それからスタジアムを利用、またスタジアムでスポーツ観戦することによる、そういったスポーツを通じた青少年の健全育成などに努めてまいりまして、交流人口の拡大、また移住者の増加につなげていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（湊 泰孝） 安藤満美議員。

○安藤満美議員（亀岡川東学園） 一つ目のかめおかフォトグランプリ（仮）をするに当たって、学校のパソコンでサイトを見れると、みんなの興味がより広がると思います。しかし、今、亀岡市内の中学校では、インターネットに制限がかかっており、一般のサイトを余り見る

ことができません。有害なサイトもあるので、全てを閲覧できるようにするのは難しいと思いますが、調べ学習のときに不便なことも多いので、少し制限を緩くしてもらえるとうれしいです。

○議長（湊 泰孝） 桂川市長。

○市長（桂川孝裕） 学校のインターネット環境については、いろいろときょうの議員からの質問を聞いておりますと、支障があるなということでありますので、亀岡市としても、もちろん情報の制限をかけていかなければならない部分もありますが、授業だとか、国際交流での活動に活用できるように、検討してまいりたいと思います。

○安藤満美議員（亀岡川東学園） 以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（湊 泰孝） これで、後半の質問が終了いたしました。

後半の質問内容について、自由に議論を交わす自由討議をしたいと思う議員はございませんか。ある場合は挙手をして、発言をしていただいたら結構です。

松田燎議員。

○松田 燎議員（大成中学校） 広報活動についてですけれども、スーパーや市民が手軽に利用できる施設にフリーペーパーなどを置いてみてはいかがでしょうか。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 小林希颯議員。

○小林希颯議員（東輝中学校） 馬堀駅のホームドアについてですが、ホームも狭いし、快速も通るので、人が転落しないように工夫してほしいです。

あと、前半の育親中学校の質問にあった安全なまちづくりについてですが、街灯だけでなく、東輝中学校の校区内では、木の根っこなどで歩道がぼこぼこになっているので、道路のバリアフリー化をしてほしいです。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 馬淵淋平議員。

○馬淵淋平議員（大成中学校） 追加で言いたいことがあります。

先ほどの大成中学校の体育館が雨漏りするというので、大成中学校でほかの学校との練習試合のときも、雨漏りが原因で中止になったということがありました。こういうこともあり、そして危険性もあるということなので、大成中学校の雨漏りを早急に直してほしいです。

○議長（湊 泰孝） 水野友瑛議員。

○水野友瑛議員（育親中学校） 大成中学校の熱中症の危険についてですが、体育館などのクーラーの設置のかわりに、学校内での熱中症対策をさらに積極的に、具体的に言えば、気温、湿度に応じて運動を制限することや、熱中症対策の講習などの回数をふやすことなどを提案します。

○議長（湊 泰孝） 権安日向議員。

○権安日向議員（南桑中学校） 今までの話を聞いている限り、何においても経費がかかると思います。なので、災害への募金や歴史人物の施設のPR、学校でのPRも含めて、姉妹都市に要請してはどうでしょうか。亀岡市では解決困難な部分もあるので、亀岡市だけではなく、世界と言ったらちょっと大きくなりますが、市内だけではなく、ほかの都市に協力を要請することも解決策の一つになると思います。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 川勝めぐり議員。

○川勝めぐり議員（亀岡中学校） 東輝中学校の婚活の推進についてで、今行っている婚活をさらにもっと頻繁に行うと、婚活の認知度も高まり、結婚の数もふえて、子どもを産む人もふえると思います。あと、婚活だけでなく、若い人に向けてのイベントをもっと多く行くと、それが出会いの場にもなると思うので、婚活やイベントを積極的に行うと、人口の増加につながると思います。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 宗川さくら議員。

○宗川さくら議員（南桑中学校） 詳徳中学校の国際人を育成するための意見で、中学校だけでなく、さらに小・中・高と国際交流をさらにすることで、外国のことにもっと興味がわくと思うので、中学校だけでなく、小・中・高で国際交流をすることを深く考えてほしいです。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 久保優也議員。

○久保優也議員（育親中学校） 東輝中学校の学校等の公共施設の整備についての迅速に安否確認ができる手段への答弁で、教室などに生徒を集めてから安否確認をするとありましたが、登校中に地震が起こった場合、教室などに生徒を集めてから安否確認をすることは難しいのではないのでしょうか。

○議長（湊 泰孝） 柴山幸議員。

○柴山 幸議員（東輝中学校） 先ほど、私たちが大きな災害があったとき、南つつじヶ丘地域のライフラインが寸断されるということについて質問したのですが、ふだんからとても不便を感じる点があって、南つつじヶ丘には急な坂道が多く、お年寄りの方が近隣のスーパーに行くのが大変だという声をよく聞きます。それに、食料品などが買える近隣の店は1カ所に限られています。そこで、南つつじヶ丘にほかのスーパーを設置するということはできないのでしょうか。もしできなかつたら、その理由も教えていただきたいです。

○議長（湊 泰孝） 討議ですので、また後日、先生を通じて回答をいただきたいと思います。

山田麻裕議員。

○山田麻裕議員（詳徳中学校） 東輝中学校の国道9号のことについて意見です。

私の家は老ノ坂の西山区というところにあるのですが、国道9号が通行どめになってしまうと出入りができず、仕事から帰ってこれない人が車の中で一泊したり、食料がなくなったりすることがあります。通行どめになってからではどうすることもできないと思うので、私たちもいつ通行どめになるかというのが全然把握できないので、あと何時間後になりそうとか、あとどれぐらい雨が降れば通行どめになるとか、そういう情報を発信するものがあれば、通行どめになっても食料がなくなったりすることはないのではないかと思います。

○議長（湊 泰孝） 吉田瑞穂議員。

○吉田瑞穂議員（大成中学校） 私は、先ほど詳徳中学校がおっしゃっていた、馬堀駅に快速を停車させるということには反対です。

JRの増便に関しては賛成なのですが、馬堀駅に快速をとめてしまうと、その馬堀駅はやっぱり利用者が多いので、快速はただでさえ今でもこんでいるのに、もっと混雑が予想されると思うからです。

それから、馬堀駅には亀岡どまりの普通電車がとまるので、それ以降の並河、千代川駅以降と比べたら、そんなに電車の本数が少ないとは思わないからです。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 中澤大河議員。

○中澤大河議員（亀岡川東学園） 先ほど、東輝中学校のスタジアムの件での答弁のときに、大河ドラマ館というものができて、その大河ドラマ館自体が経済効果アップにもなるし、かつ、それをスタジアムの近くにつくれば、さらに経済的に効果はアップすると思います。

あとは、イベントなどを行う際に、バイパスなどの整備をしたほうがいいかなと思います。渋滞の面でも、やはり詰まってしまうということもあるし、かつ、バイパスを走っていても、横を見ても木しか見えないということがあるので、その整備をしたら、さらに経済的にはアップするかなと思います。

あと、自分の学校からで、フォトグランプリについて、さらに現実的にするために、生徒会で8中学校交流会というものをやっています、それを通じてやれば、さらにフォトグランプリを現実的にできるのではないかなと思います。

以上です。

○議長（湊 泰孝） 稲原由里秋議員。

○稲原由里秋議員（別院中学校） 大成中学校のトイレの改善と雨漏りの修繕とクーラーの設置について、私は賛成です。

大成中だけではなく、市内8中学校の雨漏りなどの不備を確認し、経費については難しいと思いますが、安全かつ快適な学校生活が送れるように、早急に改善していただきたいです。

○議長（湊 泰孝） 糸井万琴議員。

○糸井万琴議員（別院中学校） 東輝中学校のスタジアムについての質問で、コンサートや音楽グループなどのライブなどを行えば、観光客などもふえるのではないかと思ったのと、川東学園のかめおかフォトグランプリ（仮）について、漫画であったファインダーという本を私は読んだので、その漫画をもっとPRしていったら、亀岡のよさも、ほかの都市などに伝わるのではないかと思います。

○議長（湊 泰孝） ほかにございませんか。

出村拓也議員。

○出村拓也議員（亀岡中学校） 東輝中学校の公共施設の耐震化についてなのですが、うちの学校でも災害時について意見を述べてきましたが、公共施設の耐震化について、この間、ニュースで、耐震の部品のデータ改ざんがありました。市内の学校の耐震の部品は大丈夫なのか、心配です。

○議長（湊 泰孝） 水野友瑛議員。

○水野友瑛議員（育親中学校） 先ほどの質問とは話がそれてしまうのですが、育親中学校は自然に囲まれていて、それ自体はすごくいいことなのですが、窓をあけていると虫がたくさん入ってきて、この前の授業でも、とても大きい蜂が入ってきて、本当に目の前を飛んでいったので、網戸を設置していただけないでしょうか。網戸なら空調設備みたいに費用はかからないので、もしできたらお願いします。

○議長（湊 泰孝） 松田燎議員。

○松田 燎議員（大成中学校） 先ほどの大成中学校のトイレのことについて、追加でお願いします。

もしこの市役所でトイレが、男子トイレの前を女性が通ることを皆さんはどう思いますか。正直、そんなことをしたら、世間でセクハラとか騒がれてしまうのではないのでしょうか。なので、早急に大成中学校のトイレ、その他中学校のトイレ、学校設備を直していただきたいです。

○議長（湊 泰孝） 安藤満美議員。

○安藤満美議員（亀岡川東学園） 大成中学校の体育館とトイレについてです。

今年度の夏も、とても暑い日が続き、体育館の温度は危険な温度にまで上がって、運動禁止の温度になるときもありました。ですが、そのときに大会前ということで、続けて部活動をしていました。そうすると、お茶など持ってきたものが想定していたよりも早くなくなり、水道などに入れに行くことがあるのですが、体育館のトイレなどが汚いと、余りその水を飲みたくなくなって、違う場所に水を取りに行き、部活の時間が減ってしまうことがありました。なので、体育館のトイレなどをもっと早くきれいにしてほしいです。

○議長（湊 泰孝） ないですか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（湊 泰孝） それでは、これで自由討議を終了します。

以上で質問を終わります。

○議長（湊 泰孝） 次に、日程第5、決議案について、議題といたします。

中学生議員から、「ふるさとのまちや学校をよりよくするために主体的に考え行動する決議（案）」が提出されていますので、提案理由の説明を求めたいと存じます。

南桑中学校、権安日向議員、大成中学校、吉田瑞穂議員。

[権安日向議員、吉田瑞穂議員 登壇]

○吉田瑞穂議員（大成中学校） 大成中学校の吉田瑞穂です。

○権安日向議員（南桑中学校） 南桑中学校の権安日向です。

○吉田瑞穂議員（大成中学校） 亀岡市議会中学生議会の23名の議員を代表して、提案理由を説明いたします。

お手元配付の「ふるさとのまちや学校をよりよくするために主体的に考え行動する決議（案）」の朗読をもって、提案理由の説明にかえさせていただきます。

○権安日向議員（南桑中学校） 「私たちの描く亀岡 未来に向けて」をテーマとして、本日開催された中学生議会に、私たちは、市内各中学校の代表としてここに集いました。代表になったきっかけや経緯はさまざまですが、いずれの代表議員も、学校をよくしたい、安全で住みよいまちをつくりたい、中学生の視点で亀岡市政にしっかりと意見を述べたい、他の学校の意見や考えを学びたい、もっと自分が積極的に表現したり伝え合ったりできる力をつけたいなど、強い参加意欲をもって、本日の質問に臨みました。

各校の質問内容は、社会科の授業や生徒会の活動などを通して、学校のたくさんの仲間呼びかけ、声や思いを集めて練り上げたもので、それぞれが大切な願いや提案でした。多くの学校で質問を選ぶきっかけとなったことの一つに、今年地震や豪雨、台風などの災害で自分たちのまちも多くの被害に見舞われたということがあります。改めて、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、完全な復旧・復興と、災害に強いまちづくりに努力されることを心から願うものです。そして、私たちにもできることがあれば積極的にかかわっていききたいと思います。

質問に対する答弁を聞き、積極的に再質問し、自由討議では他の学校の質問事項や答弁に対しても、自分なりの意見をもって積極的に発言することができました。これらのやりとりを通して、私たちの学校やまちをよりよくする施策がどのようにして計画・実行されるのか、そのお金はどのように集められ使われるのかを理解することができました。また、市民から預かった税金をどのように使うのか計画・実行する市長と、その計画や執行を市民のためにしっかりとチェックする議会が、二代表制としてどちらも大切な役割を果たしており、それぞれを選挙で選ぶ有権者の投票は、とても大事であることも再認識しました。残念ながら現在において、選挙の投票率は低迷を続けています。私たちは自分が選挙権を持ったときに、これらのことを

踏まえて、必ず政治に参加する権利を行使するよう、私たちの世代にも訴えていきます。

○吉田瑞穂議員（大成中学校） このような貴重な学びの場となった中学生議会を、今後も続けていただき、さまざまな形で、中学生が亀岡のまちづくりや政治に関心を持てる場に参加できるよう努力していただくことを心から望みます。また、中学生から見た、学校やふるさとのよさを、亀岡市が今後も守り発展させていただくことを求めます。

私たちは以下の点で、今後も積極的に努力することを表明します。

一、これからも、自分たちの学校やまちのよさを大切にして、よりよいものにしようと積極的に考え、行動します。

一、市民が納める税金が市民のためにどう使われるのか、どのようにチェックされるのかなど、市政に関心を持ち、自分なりの考えを持って、18歳になれば、それぞれの代表者を選ぶ有権者としての権利を必ず行使します。

一、本日の経験を各中学校に持ち帰り、みんなが同じ思いで、よりよい学校づくり、住みよいまちづくり、亀岡市政など政治への関心や参加意欲を持つことができるよう、しっかりと伝えていきます。

以上、決議します。平成30年10月27日、亀岡市議会中学生議会。

以上です。

○議長（湊 泰孝） お諮りします。

ただいまの決議案については、質疑及び討論を省略して、直ちに採決したいと思いますが、御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（湊 泰孝） 御異議なしと認め、質疑及び討論の省略を決定しました。

ただいまから採決を行います。

採決の方法は、起立により行います。

「ふるさとのまちや学校をよりよくするために主体的に考え行動する決議（案）」について、原案のとおり決定することに賛成者の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（湊 泰孝） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

ただいま可決されました決議の字句等の整理は、議長に一任願います。

ふるさとのまちや学校をよりよくするために主体的に考え行動する決議（案）

「私たちの描く亀岡 未来に向けて」をテーマとして、本日開催された中学生議会に、私たちは、市内各中学校の代表としてここに集いました。代表になったきっかけや経緯は様々です

が、いずれの代表議員も、学校をよくしたい、安全で住みよいまちをつくりたい、中学生の視点で亀岡市政にしっかりと意見を述べたい、他の学校の意見や考えを学びたい、もっと自分が積極的に表現したり伝えあったりできる力をつけたいなど、強い参加意欲をもって、本日の質問に臨みました。

各校の質問内容は、社会科の授業や生徒会の活動などを通して、学校のたくさんの仲間によりかけ、声や思いを集めて練り上げたもので、それぞれが、大切な願いや提案でした。多くの学校で質問を選ぶきっかけとなったことの一つに、今年地震や豪雨、台風などの災害で自分たちのまちも多くの被害に見舞われたということがあります。あらためて、被害に遭われたみなさまに心からお見舞い申し上げますとともに、完全な復旧・復興と、災害に強いまちづくりに努力されることを心から願うものです。そして、私たちにもできることがあれば積極的に関わっていききたいと思います。

質問に対する答弁を聞き、積極的に再質問し、自由討議では他の学校の質問事項や答弁に対しても、自分なりの意見をもって積極的に発言することができました。これらのやりとりを通して、私たちの学校やまちをよりよくする施策がどのようにして計画・実行されるのか、そのお金はどのように集められ使われるのかを理解することができました。また、市民から預かった税金をどのように使うのか計画・実行する市長と、その計画や執行を市民のためにしっかりとチェックする議会が、二元代表制としてどちらも大切な役割を果たしており、それぞれを選挙で選ぶ有権者の投票はとても大事であることも再認識しました。残念ながら現在において選挙の投票率は低迷を続けています。私たちは自分が選挙権を持った時に、これらのことをふまえて必ず政治に参加する権利を行使するよう、私たちの世代にも訴えていきます。

このような貴重な学びの場となった中学生議会を、今後も続けていただき、様々な形で、中学生が亀岡のまちづくりや政治に関心を持てる場に参加できるよう努力していただくことを心から望みます。また、中学生から見た、学校やふるさとの良さを、亀岡市が今後も守り発展させていただくことを求めます。

私たちは以下の点で今後も積極的に努力することを表明します。

- 一、これからも、自分たちの学校やまちの良さを大切にして、よりよいものにしようと積極的に考え、行動します。
- 一、市民が納める税金が市民のためにどう使われるのか、どのようにチェックされるのかなど、市政に関心を持ち、自分なりの考えを持って、18歳になれば、それぞれの代表者を選ぶ有権者としての権利を必ず行使します。
- 一、本日の経験を各中学校に持ち帰り、みんなが同じ思いで、よりよい学校づくり、住みよいまちづくり、亀岡市政など政治への関心や参加意欲をもつことができるよう、しっかりと伝えていきます。

以上、決議します。

平成30年10月27日

亀岡市議会中学生議会

○議長（湊 泰孝） 以上をもって、亀岡市議会中学生議会の議事日程は全て終了しました。それではここで、教育長から講評をいただきたいと思います。

田中教育長。

○教育長（田中太郎） 中学生議員の皆さん、大変、1日御苦労さまでございました。教育長の田中のほうから、本議会の講評をさせていただきます。

平成27年に小学生による子ども議会が開催されました。翌年には高校生による高校生議会、そして、1年、間をあけて、ことし中学生議会ということで、亀岡市議会では、こうした子どもたちに集まっていただいて議会を開催していただいているということで、大変ありがたいことだというふうに思っています。

本日は、各学校から代表していただいて、合計23名の方に議員として出席いただきました。本当にありがとうございました。また、大変御苦労さまでございました。

この間、熱心に御指導いただきました各学校の校長先生を初め、担当の先生方には、改めてこの場をおかりして、お礼を申し上げたいと思います。まことにありがとうございました。

さて、本日皆さんは、亀岡市の抱えるさまざまな問題について、中学生の視点から、大変素晴らしい質問をいただきました。私も聞いていて、大変どきどきいたしました。防災対策であったり、あるいは交通網の整備、スタジアムの活用施策、あるいはまた、そうしたものを含めた亀岡市の魅力発信、人口減少や、特に少子化への対応や、子ども子育て支援のあり方、そして国際交流の促進、学校施設の充実については、最後、大変多くの御意見なり御希望も聞かせていただきました。大変身近な問題から、全国どこの地域にも共通するような、大変重い課題まで、幅広く多くの質問を出していただきました。皆さん方の意識の高さといいますか、そうしたものを改めて認識するとともに、大変感心したところでございます。

今回質問いただきましたことについては、それぞれ、市長を初めそれぞれが答弁をしてみましたけれども、亀岡市としても、桂川市長を先頭に、皆さん方の考えや要望等を生かして、取り組みをぜひ積極的に進めてまいりたいというふうに思っています。

しかし一方で、交通網の整備であったり、学校施設の整備もそうですが、大変お金がかかる事業も、提案としてはたくさん出されていきました。こういったものについては、京都府や国にお願いしなければならないことも、大変たくさんありますが、積極的にこうしたお願いも進めていき、補助金等も獲得しながら、着実にそうした事業にも取り組んでいきたいというふうに思っているところでございます。

さて、選挙権が18歳に引き下げられました。皆さん方も、あと数年すれば、選挙権を獲得する年齢に達するわけであります。先ほど、決議案の中にも、そうした皆さん方の熱い思いを聞

かせていただいたわけですが、一方で、若い世代の選挙の投票率が大変低いといったことも言われ続けているわけであります。政治は遠い世界の話では決してなく、本当に身近な、皆さん方の生活そのものだというふうに思っています。中学生の皆さんが、これからも亀岡市の政治あるいは京都府、国の政治について、引き続き関心を持ち続けてほしいと思いますし、新聞あるいはニュース等から、そうした問題についてよく考えて、自分の意見、自分の考えをしっかりと持って、そうしたものを他者に伝える力をつけてほしいなと思っています。

これからもしっかりと勉強していただいて、亀岡の将来を担う立派な社会人になっていただくことを、心からお願いしたいと思えます。

終わりになりますけれども、このたび、子どもたちに貴重な議会体験の場を与えていただきました湊市議会議長を初め、市議会議員の皆さん方に心から感謝とお礼を申し上げまして、講評といたします。本日は大変ありがとうございました。御苦労さまでした。

○議長（湊 泰孝） 次に、副議長が閉会に当たり挨拶をいたします。

小松副議長。

○副議長（小松康之） 各中学校代表の中学生議員の皆さん、大変お疲れさまでございました。

皆さんは、社会科の公民の中で地方自治を習うわけですが、教科書や学校の授業の内容と違い、どんな感じを持たれたでしょうか。

きょう一日、今まさに、本市議会で理事者側と真剣に議論している、定住・移住、そして防災対策、そして安全・安心のまちづくり等のテーマを含め、自分たちの地域や学校等々、幅広い皆さん方の質問や御意見、そして提言を聞かせていただきました。本当に皆さんが、学校活動や日々の生活を送る中で考えられていることが、よく理解できました。

また、積極的にこの中学生議会に参加いただき、緊張しながらも質問に臨まれた皆さんを見て、大きな勇気をもらいました。私たち市議会議員も大変感心し、見習わなければならないことがたくさんあると感じたところでございます。

こうして、皆さん一人一人の力を合わせていただいたことによりまして、大変すばらしい中学生議会をつくり上げていただけたと、本当に感謝しております。

また、本日は保護者の皆様、そして御担当いただきました教職員の皆様には、中学生議会の開催に当たり、多大な御協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、開かれた議会を目指す亀岡市議会として、より広く、より多くの市民の皆様の御意見を聞く機会として、大変有意義な取り組みとなりましたことに、感謝申し上げます。

そして、中学生議員の皆さんには、きょうの頑張りを決して忘れないでいただきたいと思えます。決議をしていただいたように、皆さんのふるさと亀岡やみずからの学校をよりよくするために、主体的に考え、行動できるよう、今後も努力を重ね、さまざまなことに取り組んでいただきたいと願っています。

最後に、ここにいらっしゃる皆様方に、これからも変わらぬ市議会へのお力添えをお願いするとともに、皆様方の御健勝と御多幸を御祈念申し上げ、閉会の御挨拶とさせていただきます。本日は長時間にわたり、本当にありがとうございました。

○議長（湊 泰孝） 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

これまでの準備期間も含めまして、御努力をいただきました中学生議員の皆さんを初め、開催に当たり、多大なる御協力をいただきました全ての皆様方に心から感謝を申し上げたいと思います。

これもちまして、亀岡市議会中学生議事を閉会します。

まことにありがとうございました。

午後4時05分閉会

地方自治法第123条第2項の規定に基づき署名する。

亀岡市議会議長 湊 泰 孝

亀岡市議会副議長 小 松 康 之

会議録署名議員 赤 坂 芽 衣

会議録署名議員 稲 原 由 里 秋